



# ARTIST X

25 49 61 37 88

25/37/49/61/88 鍵 ベロシティ対応ピアノスタイル鍵盤 USB MIDI コントローラーキーボード

Artist X はスタジオ／ステージ両用に設計されたプロフェッショナル級 USB-C MIDI キーボードです。ベロシティ対応鍵盤、高感度キーベッド、LED フィードバック付きデュアル機能エンコーダーを搭載し、精密なコントロールと表情豊かな演奏を実現します。Mackie Control および HUI プロトコルを標準搭載し、主要 DAW とスムーズに連携します。耐久性・汎用性に優れ即応性が高い Artist X は、コンパクトなボディにクリエイティブのパワーを凝縮した一台です。

Artist 25X



Artist 37X



Artist 49X



Artist 61X



Artist 88X



**重要事項：** Artist シリーズは MIDI コントローラーキーボードであり、家庭用電子キーボードではありません。内蔵音色やスピーカーは搭載されていません。

# 目次

はじめに.....	6
Artist X シリーズは誰のための製品ですか？ .....	6
パッケージの中身は何ですか？ .....	6
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください.....	7
概要 .....	8
特長 .....	10
トップパネル .....	11
トップパネル 続き .....	12
リアパネルレイアウト.....	15
始め方 .....	16
始め方 パート 2a：iMAP をインストールする (Mac) .....	18
始め方 パート 2b：iMAP をインストールする (Windows) .....	20
始め方 パート 3c：PC/Mac + DAW を接続する .....	23
開始する前に.....	23
DAW 接続図 .....	26
Ableton Live .....	26
Bitwig.....	27
Cubase .....	28
Logic Pro.....	29
Nuendo .....	30
Pro Tools.....	31
Reason .....	32
Reaper .....	33
Samplitude.....	34
Studio One.....	35
日常使用時 .....	36
Artist X を DAW コントローラーとして使用する .....	37
iMAP™ の使用方法.....	41
MIDI 機能のアサイン設定.....	42
iMAP™ Artist X ソフトウェアパネル.....	42
CC、Note、Program、Pitchbend 値：概要.....	56
MIDI についての補足.....	58
CC 値の再マップ .....	59
CC 値の割り当て - 便利な CC 一覧.....	60
CC 値の割り当て - 例.....	61
MIDI についての補足：ノート、プログラム、ピッチベンド .....	63
General MIDI 音色 .....	67
ベロシティカーブ表示.....	68
ベロシティカーブの説明.....	72
ベロシティカーブ クイックリファレンスチャート.....	75
カスタムベロシティカーブの作成方法.....	76
その他の用途 - シンセサイザー制御・MIDI ラーン .....	77
ファームウェアアップグレード .....	79
工場出荷時設定にリセット .....	81
概要 - サステインペダル接続極性の反転 .....	81
トラブルシューティング .....	82
付録 A：HUI モード 機能一覧表.....	83
付録 B：Mackie Control モード 機能一覧表.....	84
仕様 .....	85
サービス.....	86

# 安全上の注意

本製品を正しくご使用いただくため、ご使用前に本使用上および安全上の注意事項をよくお読みください。本書類では、誤使用による使用者または第三者への危害・損害を未然に防ぐため、重要な注意事項を記号で表示しています。以下に記号とその意味を示します。

## ⚠ 警告

重傷または死亡につながるおそれのある行為を示します。

## ⚠ 注意

けがや機器の故障・破損につながるおそれのある行為を示します。

## その他使用する記号

⊘ 禁止されている行為を示します。

❶ 義務付けられている行為を示します。

## ⚠ 警告





■ 電源 (対応する電源に関する詳細はマニュアルを参照してください)。

❶ 必ず指定された電源アダプター (製品専用) を使用してください。

⊘ コンセントやその他配線機器の定格を超えて使用しないでください。

❶ 電圧の異なる海外の国や地域で機器を使用する前に、iCON Pro Audio 製品を取り扱う地域の iCON 販売店・小売業者、または iCON Pro Audio サポートに必ず確認してください。iCON Pro Audio が指定する承認済みの適切なアダプターを使用してください。

❶ 使用前に電源に関する警告表示をよく確認してください。

	<b>CAUTION</b> RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIIR		
CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT REMOVE COVER (OR BACK) NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE REFER SERVICING TO QUALIFIED PERSONNEL			
ATTENTION: POUR EVITER LES RISQUES DE CHOC ELECTRIQUE: NE PAS ENLEVER LE COUVERCLE AUCUN ENTRETIEN DE PIECES INTERIEURES PAR L'USAGER. CONFIER L'ENTRETIEN AU PERSONNEL QUALIFIE. AVIS: POUR EVITER LES RISQUES D'INCENDIE OU D'ELECTROCUTION, N EXPOSEZ PAS CET ARTICLE A LA PLUIE OU A L'HUMIDITE			

The lightning flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated, dangerous voltage within the product's enclosure, that may be of sufficient magnitude to electric shock to persons. Le symbol, clair avec point de flèche à l'intérieur d'un triangle équilatéral est utilisé pour alerter l'utilisateur de la présence à l'intérieur du coffret de voltage dangereux non isolé d'ampleur suffisante.

The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user of the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance. Le point d'exclamation à l'intérieur d'un triangle équilatéral est employé pour alerter les utilisateurs de la présence d'instructions importantes pour le fonctionnement et l'entretien (service) dans le livret d'instruction accompagnant l'appareil.

**警告：火災または感電のリスクを軽減するため、本製品を雨や湿気に曝さないでください。**

## ■ 修理・改造について

- ❶ 本体を開封したり、ご自身で修理を行わないでください。修理や改造が必要な場合は、必ず iCON Pro Audio テクニカルサポートまたは iCON Pro Audio 認定サービスセンターにご依頼ください

## ⚠ 注意：

### ■ 製品の取り扱い方

- ❶ 落下・衝突・過度な力がかかることがないように、慎重に取り扱ってください
- ❷ 本製品の内部に液体や異物が入らないようにしてください。

### ■ 使用環境

- 極端な高温または低温下で使用しないでください。
- ヒーター、ストーブなどの熱源の近くで使用しないでください。
- 多湿な場所や水がかかる場所を避けてください。
- 振動が大きい場所、ほこりや砂が多い場所を避けてください。

### ■ ケーブル・機器の接続について

- ❶ ケーブルまたは外部機器を接続する前に、必ずすべての機器の電源を切ってください。
- ❷ 本体を移動する際は、破損を防ぐためにすべてのケーブルと付属品を取り外してください。

### ■ 音量

- ❶ 聴力保護のため、大音量での長時間使用を避けてください。

## P操作上の注意事項

### ■ 干渉について

本製品は電磁波の放射を抑え、外部からの干渉に耐性を持つよう設計されています。ただし、干渉に敏感な機器や強い電磁波を発生する機器の近くに設置すると、動作に支障が生じる場合があります。干渉が発生した場合は、本製品と他の機器との距離を離してください。機器の向きを変えたり、該当する場合は周波数 / チャンネルを変更したりしてください。

電磁干渉はあらゆる電子機器に影響を及ぼし、誤動作、データ破損などの原因となる可能性があります。他の電子機器の近くで使用する場合は注意してください。

### ■ お手入れについて

本体外装のお手入れには、柔らかい乾いた布を使用してください。必要に応じ、適切な布を極わずかに湿らせて使用してください。

ゴム・シリコン製部品は、毛羽立ちのない湿らせた布で優しく清掃してください。研磨剤、ワックス、アルコール・ベンゼン・シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

### ■ 故障時の対応

機器が故障または破損した場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜き、電池を取り外し、すべてのケーブルと接続機器を取り外してください。iCON Pro Audio テクニカルサポートまでご連絡ください。

### また、以下にご留意ください。

1. 通気口をふさいだり、本体の適切な通気を妨げたりしないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
2. 電源コードを踏んだり、上に物を置いたりすることで破損しないよう保護してください。プラグ、コンセント、コードの本体取り出し部分には特に注意してください。
3. 感電の危険を避けるため、本体の動作中は露出した配線に触れないでください。
4. iCON が指定する付属品・アクセサリーのみ使用してください。

# はじめに

まずは、25/37/49/61/88 鍵盤のベロシティ対応ピアノ式キー搭載の iCON Pro Audio Artist X USB MIDI コントローラーキーボードをご購入いただき、誠にありがとうございます。このページでは、Artist X シリーズの機能詳細と仕様の完全な一覧をご紹介します。

以下のリンクから当社ウェブサイトにて製品登録をお願いいたします：[www.iconproaudio.com/registration](http://www.iconproaudio.com/registration)

ほとんどの電子機器と同様、本製品のオリジナルパッケージを保管することを強くお勧めします。万が一製品を修理のため返品する場合、オリジナルパッケージ（または同等の適切なパッケージ）が必要となります。適切なお手入れと十分な換気を行えば、Artist X シリーズ製品は長年にわたりトラブルなく動作します。

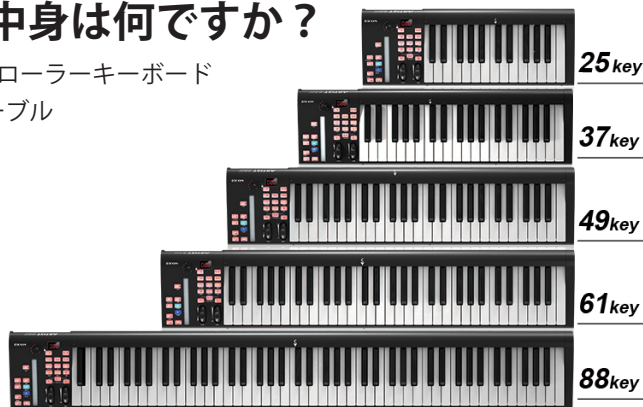
本製品が長きにわたり優れた性能を発揮してくれることを信じておりますが、万が一最高水準の性能を発揮できない場合には、問題解決のため最大限の努力をいたします。

## Artist X シリーズは誰のための製品ですか？

Artist X シリーズは、ソフトウェア楽器、スタンドアロン・バーチャルシンセサイザー、または外部 MIDI ハードウェア向けに、信頼性が高く表現力豊かな MIDI キーボードを必要とするミュージシャン、プロデューサー、作曲家、教育関係者を対象に設計されています。DAW との高度な連携に伴う複雑さを避けつつ、ベロシティ、モジュレーション、アサインブルノブといった音楽表現をタッチ操作でコントロールしたいユーザーに最適です。Artist X シリーズには専用の DAW トランスポートコントロールが搭載されておらず、Mackie Control や HUI コントローラーとして使用することはできません。マウス、キーボード、その他の専用コントロールサーフェスで DAW を操作し、キーとパフォーマンスコントロールを介した音楽入力に専念したいユーザーに最も適しています。

## パッケージの中身は何ですか？

- Artist X MIDI コントローラーキーボード
- USB-C to USB-C ケーブル



無料テクニカルサポート付き

# お客様のアカウントで *ICON Pro Audio* 製品をご登録ください

## 1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

## 2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

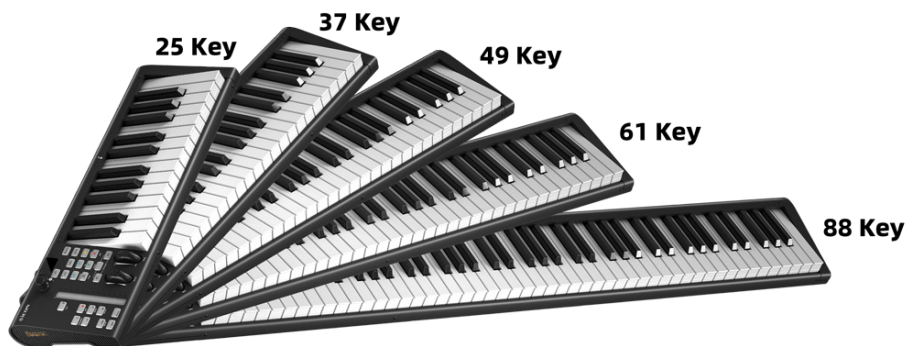
既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

## 3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

# 概要



iCON Pro Audio Artist X MIDI キーボードは、スタジオ・ステージ・教育現場での表現力豊かな演奏と効率的なコントロールを実現するプロフェッショナル級コントローラーです。25、37、49、61、88 鍵のラインナップを用意し、モバイル環境からフルサイズ環境まで、あらゆるワークスペースに対応します。ベロシティ対応キーベッドは自然でダイナミックなタッチ感を実現し、ピアノのような表現力と電子音楽制作に適した速いレスポンスを両立させています。iCON 製 iMAP ソフトウェアでベロシティカーブを調整でき、プレイヤー独自のスタイルや奏法に合わせてキーボードの反応を微調整できます。

Artist X のすっきりと効率的なレイアウトは、必要なコントロールを手元に集約しています。キーボード左側の人間工学に基づいた操作エリアには、LED リング付きデュアル機能エンコーダーを搭載し、パラメーターを精密に制御できるほか視覚的なフィードバックも得られます。オクターブシフト・トランスポーズボタンで音域をすばやく切り替えられ、なめらかなピッチホイールとモジュレーションホイールがリアルタイムで表情豊かな演奏を可能にします。すべてのコントロールは片手で直感的に操作できる位置に配置されており、スピーディーな制作やライブでの即興演奏に最適です。

演奏用コントロールに加え、Artist X は Mackie Control・HUI プロトコルに対応した統合 DAW コントロール機能を搭載しています。対応 DAW に接続すると、トランスポートボタン、ロータリーエンコーダー、タッチ感知型リボンフェーダーにより、再生操作、トラック選択、音量調整、プラグインパラメーターの操作を直接行えます。タッチパッドフェーダーはモーター駆動フェーダーのスタイリッシュな代替となり、多くの DAW で現在選択中のチャンネルに連動します。指でなぞるだけで機械的な動作なくスムーズかつ正確に音量を調整でき、効率的なミックスワークフローに適しています。

アルミニウム製の堅牢なシャーシを採用し、頻繁な持ち運び、スタジオでの日常使用、出先での演奏といった過酷な環境にも耐えられる設計です。ケンジントンロックポートを搭載し、公共施設や教育現場でのセキュリティを強化します。

接続性はモダンで堅牢です。高速 USB-C ポートにより、高速なデータ転送、安定したバスパワー供給、macOS・Windows 両システムでの完全なクラスコンプライアント動作を実現します。リアパネルにはプロフェッショナル級の追加接続端子を搭載：外部機器制御用の伝統的な 5 ピン MIDI Out ポート、拡張されたタクタイルコントロールのための 6.35mm (1/4 インチ) サステイン・エクスプレッションペダル入力、過酷な環境での安定性を高める 5V/2A DC 電源入力、すばやい操作が可能な専用電源スイッチを備えています。

Artist X のコアには高性能 ARM プロセッサを搭載し、プラグインを多用した複雑なセッションでも、超低レイテンシー、完璧な MIDI 通信、確固たるパフォーマンスを実現します。複数のインストゥルメントを重ねたり、緻密なミックスをオートメーション操作したり、高速なシーケンスを録音したりする場合でも、ARM アーキテクチャが高い応答性と同期を維持し、ラグを解消してすべての音を意図した通りに正確に発音させます。

ハードウェアの性能を補完するため、Artist X は導入当日からクリエイティビティを刺激する充実した制作ソフトウェアバンドルを付属します。このスイートの中心を担うのが Native Instruments Hybrid Keys: Creative Key Mutations で、高品質サンプリングされたピアノ、ハーブシコード、オルガンにモダンなシンセシスとエフェクトを融合させた先進的なハイブリッドキーボードインストゥルメントです。豊富なプリセットと使いやすいインターフェースにより、ヴィンテージな質感から未来的なサウンドスケープまで、DAW 上で簡単に作り出せます。

ソフトウェアバンドルには他にも以下が含まれます：

**Bitwig 8-Track**：高速でモジュラーなワークフローを持つ、録音・シーケンス・アレンジ用の先進的 DAW。

**Harrison Audio Plugins**：精緻な EQ とダイナミクス処理を実現する AVA-Live チャンネルストリップ、詳細なボーカル強調が可能な Vocal Intensity Processor を搭載。

**Tracktion DAW Essentials**：EQ、リバーブ、コンプレッションなどに対応する 10 種の多機能プラグインスイート。

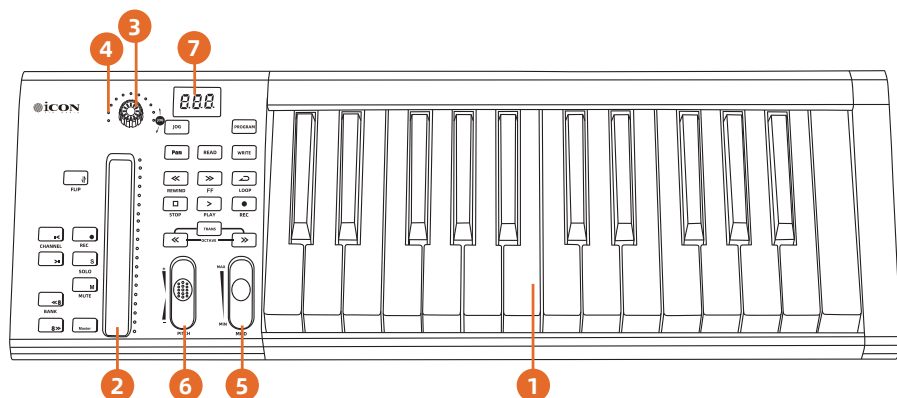
**KiloHearts Essentials & Snap Heap**：30 種以上のモジュラーエフェクトと、ドラッグ & ドロップでカスタムエフェクトチェーンやサウンドデザインツールを作成できる環境。

**Dotec Audio Plugins**：クリアで透過的なマスタリングとダイナミックシェイピングツールである DeeComp、DeeEQ を収録。

# 特長

- 25、37、49、61、88 鍵 ベロシティ対応ピアノスタイルキー
- トランスポーズ / オクターブ上下ボタン
- デュアル機能エンコーダーノブ
- エンコーダー周囲の 11 セグメント LED (回転位置 / 音量 / パン表示)
- モジュレーションホイール・ピッチホイール
- カスタマイズ可能なベロシティカーブ
- MIDI Out コネクター
- エクスプレッション・サステインペダル入力
- サステインペダル極性反転機能
- 人間工学に基づいたスリムデザイン、左側集中コントロール
- 高速 USB-C 接続 & ARM チップによる安定動作
- iMAP ソフトまたは MIDI Learn モードによる物理コントロールの MIDI マッピング
- 簡単なファームウェアアップグレード
- 堅牢なメタルシャーシ & ケンジントンロック
- クラスコンプライアントによるプラグアンドプレイ (Windows 7-11 / macOS ドライバー不要)
- 将来を見据えたファームウェア更新 (USB・iMAP ソフトで機能・互換性を簡単更新)
- DAW コントロール機能
- プリセットボタン
- タッチパッドフェーダー
- LED ディスプレイ

# トップパネル



## 1. 25/37/49/61/88 鍵 キースイッチ

25/37/49/61/88 鍵 ペロシティ対応ピアノアクションキースイッチ

## 2. DAW のチャンネル / マスターフェーダーを制御する LED 照明付きタッチフェーダー

本 LED 照明付きタッチフェーダーは、各チャンネルのパラメーター調整に使用できます。

トラックまたはバンクシフトボタンでチャンネルグループを切り替えます。

マスターボタンを押すと、フェーダーがマスターチャンネルのパラメーター制御に割り当てられます。

## 3. デュアル機能エンコーダー

デュアル機能エンコーダーは、回転コントロールとプッシュボタンの両方として動作します。

エンコーダーを押すと動作モードが切り替わります。

回転させることで、割り当てられた機能に応じてパン、センドレベル、プラグイン設定などのパラメーターを調整できます。

機能は使用する DAW により異なり、iMAP ソフトウェアでカスタマイズできます。

## 4. エンコーダー LED

エンコーダー周囲の 11 個の LED が点灯し、コンピューター画面を見ることなく回転位置を相対的に確認できます。

## 5. モジュレーションホイール

回転させてモジュレーションエフェクトを調整します。「Mod」または「モジュレーション」ホイールと呼ばれます。

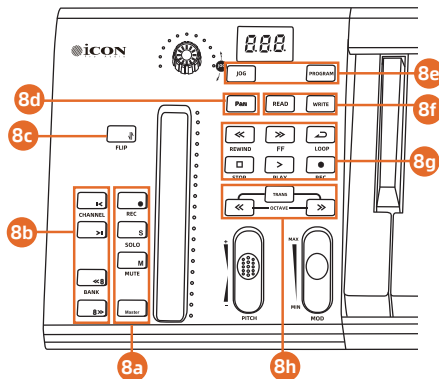
## 6. ピッチホイール

回転させてピッチベンドを調整します。手を離すとデフォルトの「0」位置に戻ります。

## 7. ディスプレイ

3 文字表示 LCD ディスプレイ

# トップパネル 続き



## 8. ボタン

本セクションでは Artist X のすべてのボタンについて説明します。左から右に図を参照してください。

### 8A / コントロールボタン 録音チャンネルコントロールボタン

**REC ボタン**：選択中のチャンネルの録音スタンバイ状態を切り替えます。オン時は赤色に点灯し、チャンネルが録音待機状態であることを示します。

**SOLO ボタン**：選択中のチャンネルのソロモードをオン/オフします。オン時は緑色に点灯し、他のチャンネルの SOLO がオンになっていない限りすべてミュートされます。複数チャンネルを同時にソロにできます。

**MUTE ボタン**：選択中のチャンネルのミュートを切り替えます。ミュート時は青色に点灯します。

**マスターボタン**：タッチフェーダーを DAW のマスター出力フェーダー制御に割り当てます。

### 8B – トラック / バンクボタン

トラック<：マスターを除くすべてのフェーダーを 1 チャンネル左へ移動します。

トラック>：マスターを除くすべてのフェーダーを 1 チャンネル右へ移動します。

バンク<：マスターを除くすべてのフェーダーを 8 チャンネル左へ移動します。

バンク>：マスターを除くすべてのフェーダーを 8 チャンネル右へ移動します。

### 8C / Flip ボタン

Flip ボタンはフェーダーとロータリーエンコーダーの機能を入れ替えます。初期設定ではフェーダーがチャンネル音量、エンコーダーがパンなどのパラメーターに割り当てられています。Flip を押すとこれらの割り当てが入れ替わります。

## 8D / PAN ボタン

Pan ボタンを押すと、ロータリーエンコーダーが各トラックのパンポジション制御に割り当てられます。コントローラーから直接、音場内でのオーディオ信号のステレオ定位を調整できます。多くの DAW では、Pan モードはトラック選択に連動し、エンコーダーの割り当てが自動的に更新されます。

## 8E / その他コントロールボタン

**Jog ボタン:**エンコーダーをジョグホイールとして使用する際にオンにします。

使用する DAW によっては、エンコーダーを押すとスクラブ (音送り) などのセカンダリー機能が作動する場合があります。

**Program ボタン:**エンコーダーと併用し、接続したソフトウェア音源またはハードウェア音源のサウンドバンクやプログラムを切り替えます。この機能は、標準プログラムチェンジメッセージ (MIDI 0~127) に対応した General MIDI (GM) 音源モジュールやシンセサイザーで特に有効です。

ソフトウェア音源の場合、VST / プラグインがプログラムチェンジメッセージにどう応答するかによって動作が異なることがあります。このような場合は、ソフトウェア内で直接パッチまたはプリセットを切り替えると安定した結果が得られます。

GM 対応の外部ハードウェアに接続した場合、Artist X の Program ボタンは標準プログラムチェンジメッセージを送信し、デバイスが対応していれば選択中のパッチまたはサウンドバンクが更新されます。GM 非対応の機種では、手動設定が必要な場合や、実装仕様の違いによりメッセージに応答しない場合があります。

2 回押すとボタンが点滅し、MIDI チャンネル 1~16 を選択できます。

## 8F / オートメーションボタン

**READ ボタン:**現在選択中のチャンネルのオートメーション読み出しモードをオンにします。オンにすると、DAW はそのトラックの既存オートメーションデータを追従して再生します。

**WRITE ボタン:**現在選択中のチャンネルのオートメーション書き込みモードをオンにします。オンにすると、音量、パン、プラグイン設定などのパラメーターに対するすべての変更内容が

## 8G / トランスポートボタン

**PLAY ボタン:**DAW の再生を開始します。

**STOP ボタン:**再生を停止します。

**REC ボタン:**DAW で録音を開始します (フェーダー左側の個別チャンネル REC ボタンでトラックを録音待機に設定した後に使用します)。

**REWIND ボタン:**プロジェクトタイムライン上のカーソルを巻き戻します。

**FAST FORWARD ボタン:**プロジェクトタイムライン上のカーソルを早送りします。

**LOOP ボタン:**ループ再生のオン / オフを切り替え、DAW の左右ロケーター間の区間を13 繰り返し再生します。

## 8H / オクターブ&トランスポーズボタン

### オクターブアップ／ダウンボタン(<</>>)

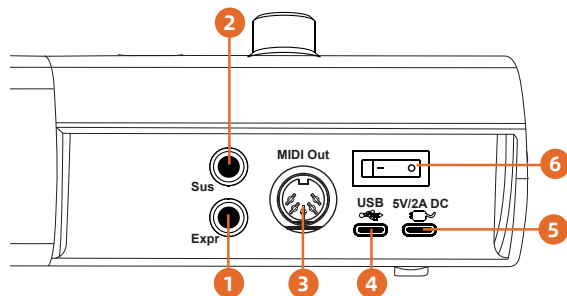
キーボードの音域を1オクターブ単位で上下にシフトします。物理的な鍵域を超えた音にアクセスできます。

### トランスポーズボタン

Transpose (Trans) ボタンを押した後、<<または>>を押すと、キーボードの音高をオクターブ単位ではなく半音単位でシフトします。調性の調整や、チューニングの異なる楽器に合わせる際に便利です。

例:Transpose ボタンと>>を押すと、「ド」の音が半音上がり「ド#」になります。

# リアパネルレイアウト

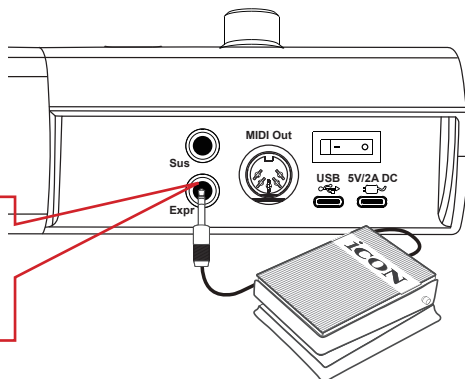


## 1. エクスプレッションペダル入力

標準的なエクスプレッションペダルを、この 6.35mm (1/4 インチ) 入力端子に接続できます。

## 2. サステインペダル入力

この 6.35mm (1/4 インチ) ジャックにはモーメンタリー式フットスイッチを接続でき、接続するとピアノのサステインペダルのように動作します。iCON SPD-01 ペダルを推奨します。



こちらに 6.35mm (1/4 インチ) ペダルのコネクターを差し込んでください。対応するペダルは自動的に検出されます。

**ヒント：**付属の iMAP ソフトウェアを使用して、サステインペダルの極性を反転させることができます。

## 3. MIDI Out ポート

外部シンセサイザーまたはサウンドモジュールの接続に MIDI Out 端子を使用します。

## 4. USB コネクター (Type-C)

付属の USB-C ケーブルで本ポートを Mac または PC に接続してください。

## 5. 電源コネクター

オプション電源用のコネクターです。Artist X は USB 給電で動作しますが、コンピューターから十分な電力が供給されない場合、またはコンピューターなしで使用する場合は、5V/2A DC 電源アダプターを接続できます。

## 6. 電源スイッチ

Artist X の電源スイッチです。

# 始め方

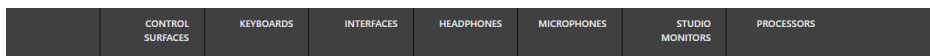
Artist X キーボードの使用を開始するには、3つの手順が必要です。

1. iCON 公式サイトから iMAP をダウンロードする
2. iMAP をインストールして起動する
3. PC/Mac および DAW を接続する

手順を正しく実行すると、設定は簡単に完了します。

# 始め方パート 1：iMAP をダウンロードする

iMAP ファイルは [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com) のユーザーセンターからダウンロードしてください。同アドレス内の製品ページでも入手できます。



Artist 25X

Serial Number: 0038cF9

Unregister  
this device

iMap for MacOS

Download the latest

iMap for Windows

Download The Latest

Quick Start Guide

Download

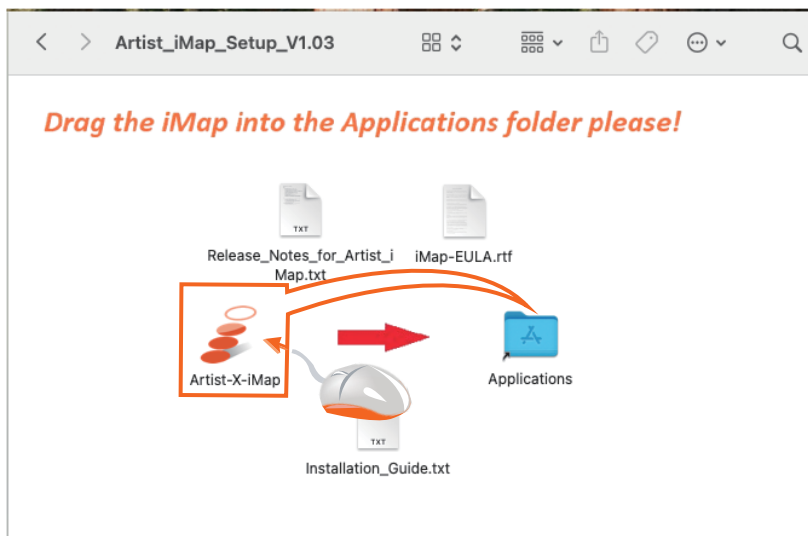
# 始め方パート 2a : iMAP をインストールする (Mac)

iMAP™ ソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従ってください。

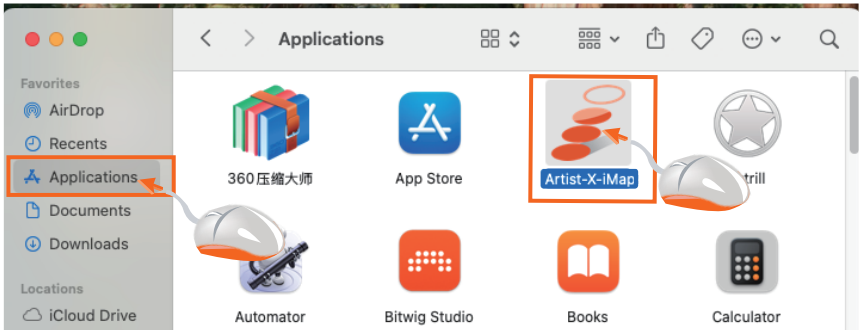
1. Mac の電源を入れます。
2. [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com) のユーザーセンターから Mac 用インストーラーをダウンロードしてください。このファイルは Artist X 製品ページでも入手できます。
3. ファイルをダウンロード・解凍した後、.dmg ファイルをクリックしてインストールを開始します。



4. インストール画面が表示されたら、Artist X iMAP アイコンを「アプリケーション」フォルダにドラッグ&ドロップしてください。



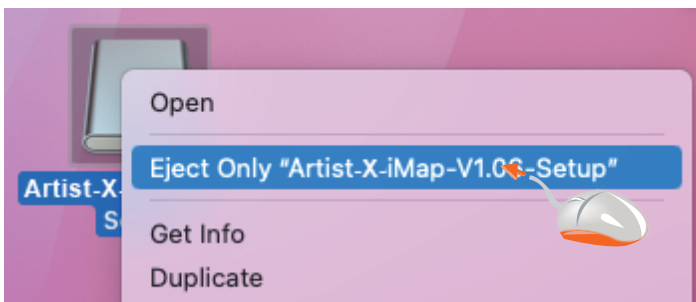
5. アプリケーションフォルダに Artist X iMAP が追加されていることを確認し、クリックして起動します。



6. Artist X iMAP を開き、ドロップダウンメニューから正しい Artist X の機種を選択してください。



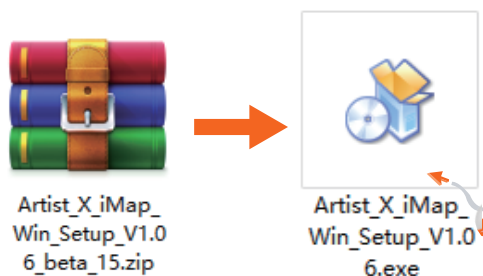
7. インストール完了後、デスクトップ上のインストーラーディスクアイコンを右クリックし、「イジェクト」を選択して取り出してください。



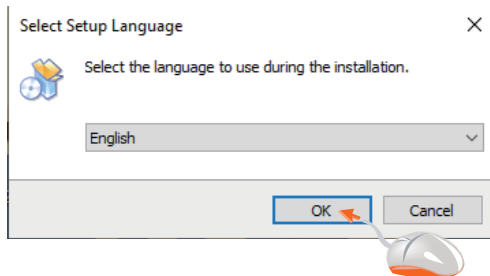
# 始め方 パート 2b : iMAP をインストールする (Windows)

iMAP™ ソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従ってください。

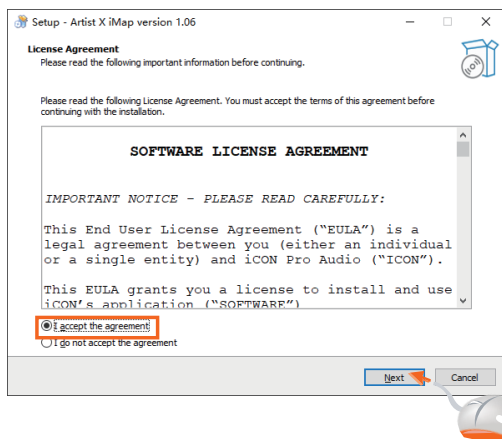
1. PC の電源を入れます。
2. www.iconproaudio.com のユーザーページから Windows 用インストーラーをダウンロードしてください。このファイルは Artist X 製品ページでも入手できます。
3. ファイルをダウンロード・解凍した後、インストールを開始してください。



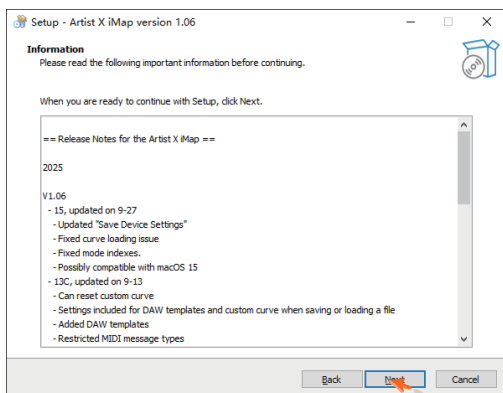
4. 言語を選択してください。



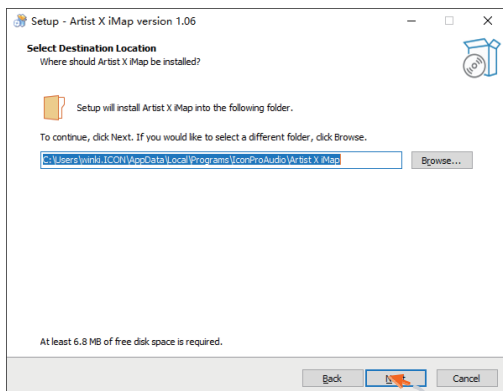
5. ソフトウェア使用許諾契約をお読みください。契約に同意する場合は「次へ」をクリックしてください。



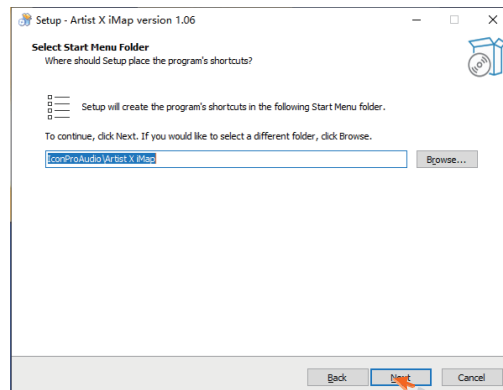
6. リリースノートをお読みいただき、「次へ」をクリックしてください。



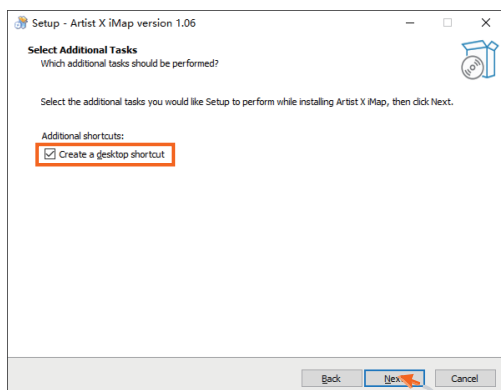
7. iMAP™ のインストール先を選択するか、デフォルトの場所を使用して「次へ」をクリックしてください。



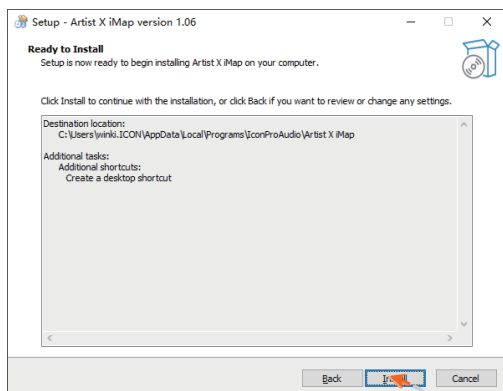
8. プログラムのショートカット用スタートメニューフォルダを選択するか、デフォルトを使用してください。「次へ」をクリックして続行します。



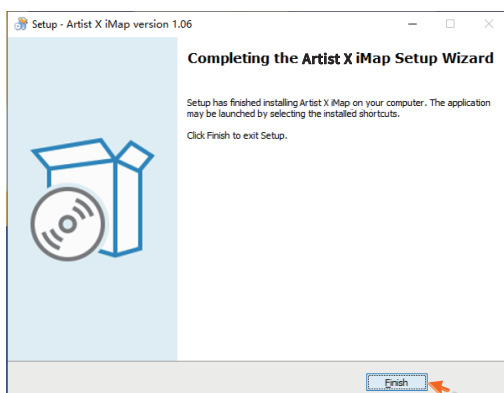
9. デスクトップに iMAP™ のショートカットを作成するか、不要な場合はチェックを外してください。「次へ」をクリックします。



10. 「インストール」をクリックして iMAP™ をインストールします。インストールが開始されますので、完了するまでお待ちください（処理を中断しないでください）。



11. インストールが完了したら「完了」をクリックしてください。



# 始め方パート 3c : PC/Mac + DAW を接続する

開始する前に…

1 つ目の MIDI ポートは以下のように表示されます。

## ポート 1:

**iCON Artist [vers]X VX.XX**

これはデバイスの「音楽用キーボード」部分（および関連するコントロール）です。  
PC/Mac に自動的に接続される部分になります（ステップ 1）。

2 つ目のポートは以下のように表示されます。

## ポート 2:

**MIDIIN2 (iCON Artist [vers]X V X.X)**  
**および**  
**MIDIOUT2 (iCON Artist [vers]X VX.XX)**

これは DAW 設定で Mackie Control（Pro Tools の場合は HUI）に割り当てるべきデバイス部分です。

Artist X をコンピューターに接続すると、これらの接続が表示されます。続行する前に、それぞれの役割を十分に理解しておくことをおすすめします。

## ポート 3:

**注：**3 つ目のポートはキーボードと iMAP 間の通信用です。バックグラウンドで動作するため、無視して問題ありません。

### 1. USB ポートで Artist X を Mac/PC に接続する

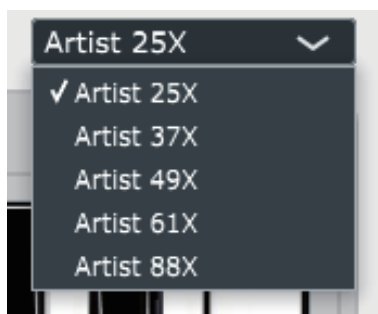
Mac/PC の USB ポートを選び、USB-C ケーブルのコネクタを差し込みます。USB-C ケーブルを Artist X に接続してください。Mac/PC は新しいハードウェアを自動的に認識し、使用可能であることを通知します。

### 2. DAW で Artist X が認識されているか確認する

DAW または音楽制作ソフトを開き、iCON Artist X コントローラーが利用可能な MIDI 入力デバイスとして選択されていることを確認してください。Artist X は「iCON Artist [vers\*] X」として認識されます。DAW またはスタンドアロンの仮想音源を経由して接続することで、すぐに仮想音源を演奏できます。ただし、MIDIIN2 (iCON Artist [vers\*] X) および MIDIOUT2 (iCON Artist [vers\*] X) として認識される DAW コントローラー機能には、追加の設定が必要です。

### 3. キーボードを選択する

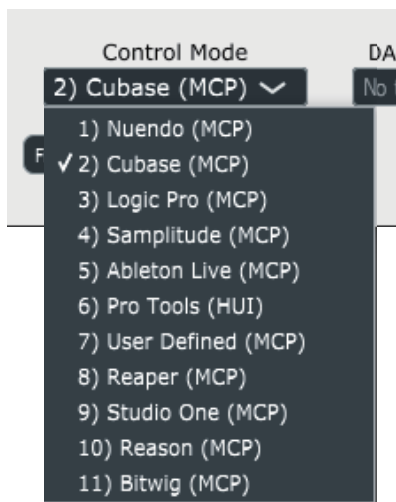
iMAP を起動し、ドロップダウンメニューから正しい Artist X の機種を選択してください。

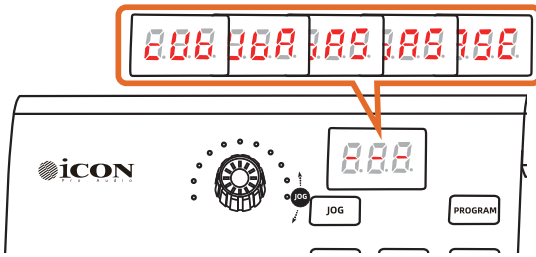


### 4. DAW モードを選択して Artist X に書き込む

Artist X iMAP を開き、対応する 10 種類の DAW リストから使用したい DAW モードを選択してください。このモードは、Artist X で使用する DAW に一致させる必要があります。ユーザー定義モードについてはここでは省略します（この機能はより高度なため、後ほどマニュアルで詳しく解説します）。

iMAP で DAW モードを選択すると、Artist X は選択した DAW で即座に動作します。この設定をキーボードに保存するには、iMAP 内の「Save Device Settings」ボタンをクリックしてください。これにより設定が Artist X に書き込まれ、手動でリセットするまで保持されます。より確実にするため、保存後はキーボードの電源を一旦オフにしてから再投入してください。ディスプレイに赤色 LED のスクロールメッセージが表示され、DAW モードが保存されたことを確認できます。



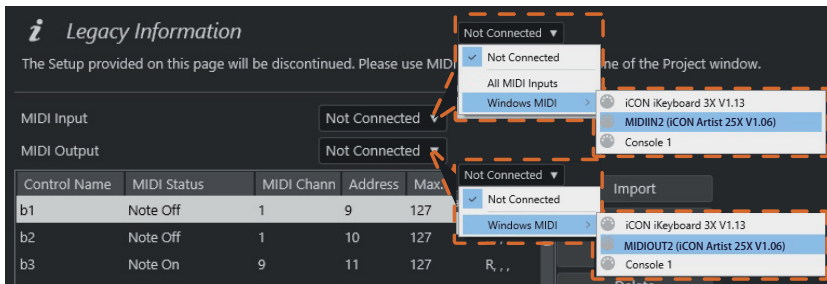


The greeting message, scrolling through the words 'Cubase' when turning on the Artist X.

## 5. DAW を Artist X 用に設定する

DAW を開き、Artist X を接続して DAW コントロール機能を有効にします。DAW コントローラーとして接続されるポートは「MIDIIN2 (iCON Artist [vers] X)」です。DAW の設定で Mackie Control (Pro Tools を使用する場合は HUI) を選択し、MIDI In および MIDI Out の両方に「MIDIIN2 (iCON Artist X)」を選択してください。設定は簡単です。

Cubase を例にすると、下の図のようにユーザーは Mackie Control セクションで Artist X キーボードの 2 つのインスタンス (INPUT と OUTPUT) を追加できるようになっています。



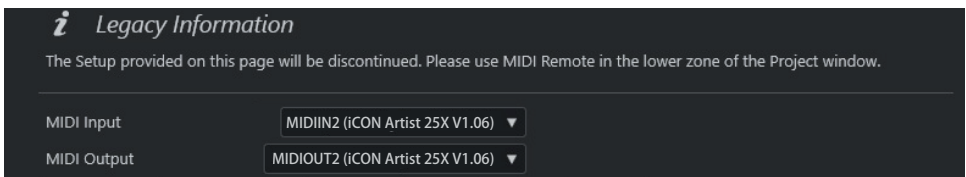
ユーザーは Mackie Control の両ポートに MIDIIN2 と MIDIOUT2 を選択する必要があります。

注意：

iCON Artist [vers] X = 音楽演奏用キーボード

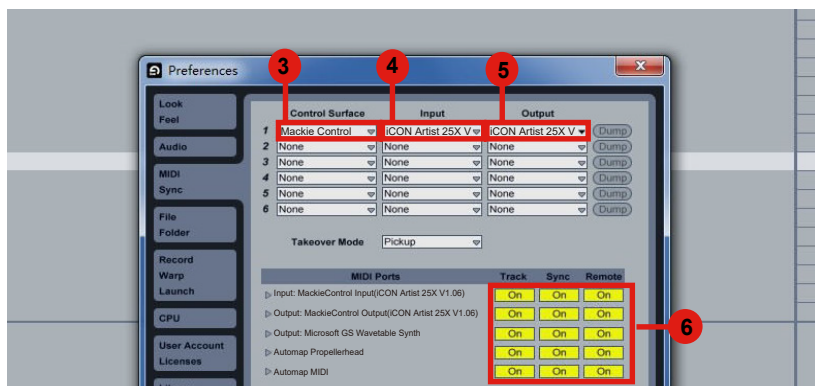
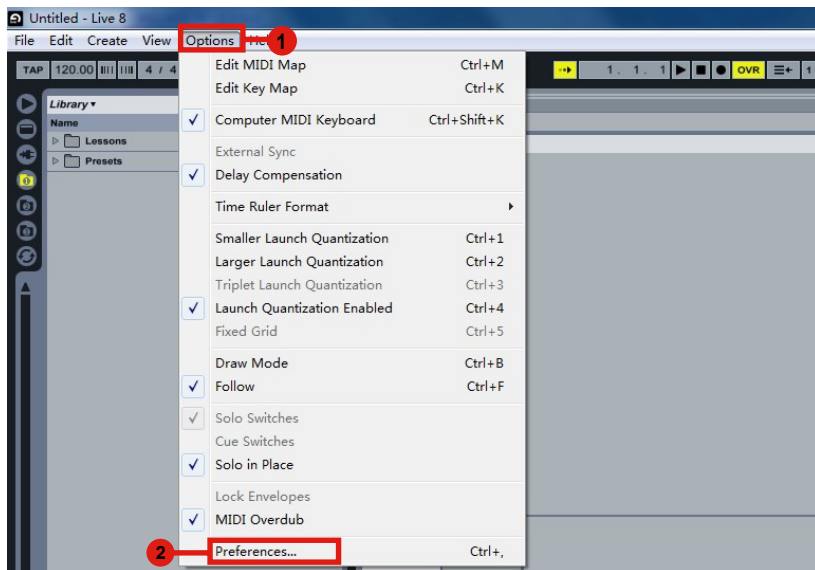
MIDIIN2/MIDIOUT2 (iCON Artist [vers] X) = DAW コントローラー

Mackie Control による正しい DAW 接続は以下のようになります。次ページ以降の設定図を参照してください。

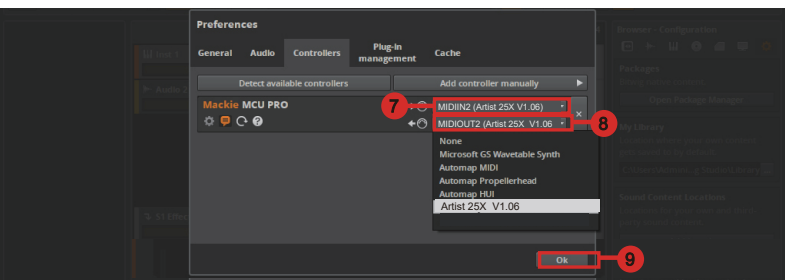
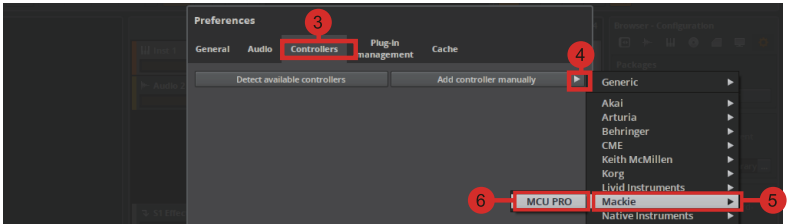
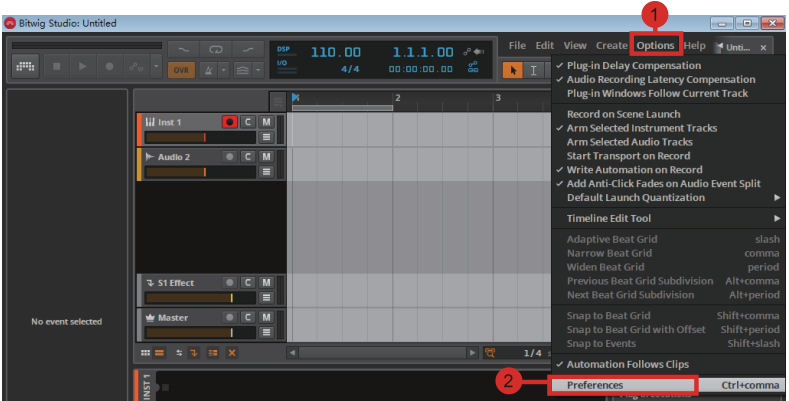


# DAW 接続図

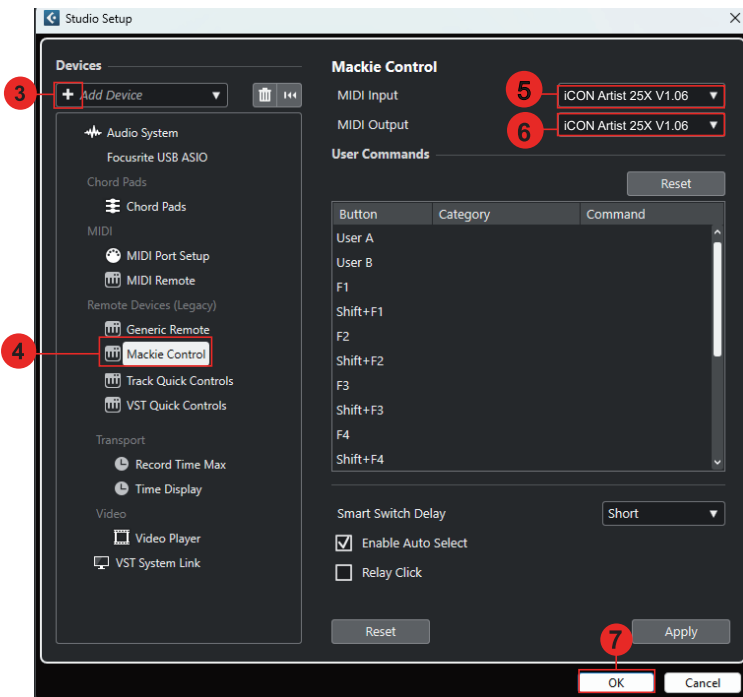
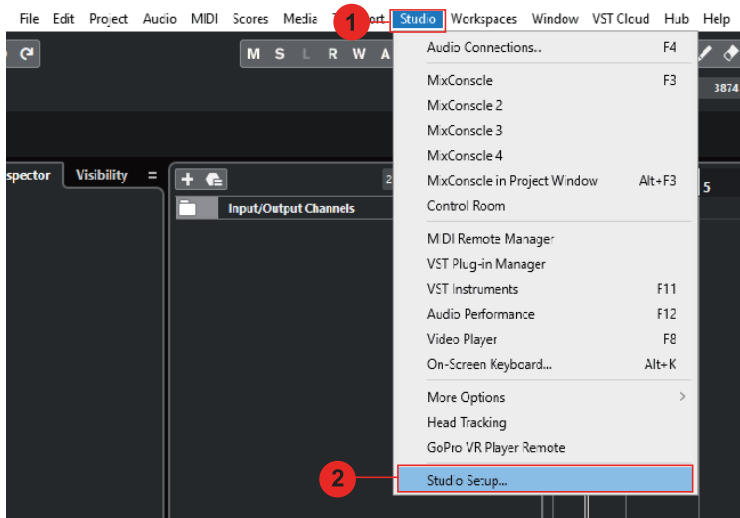
## Ableton Live



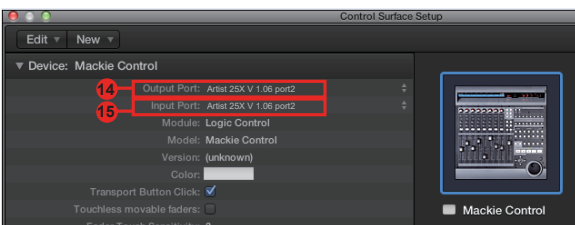
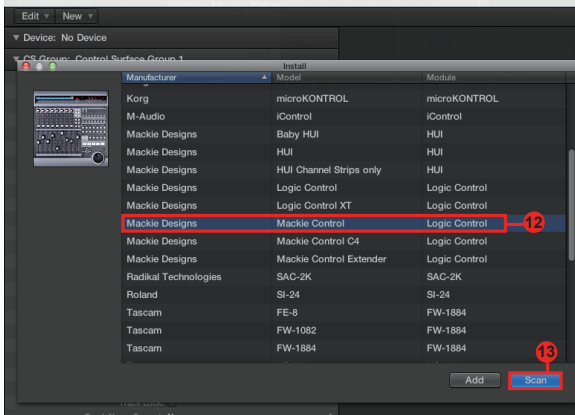
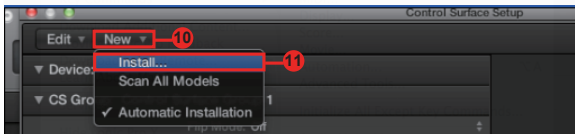
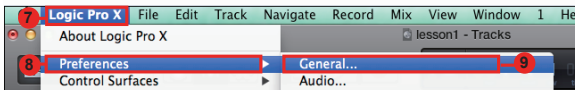
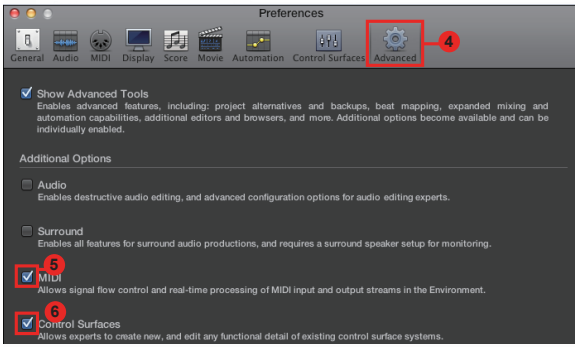
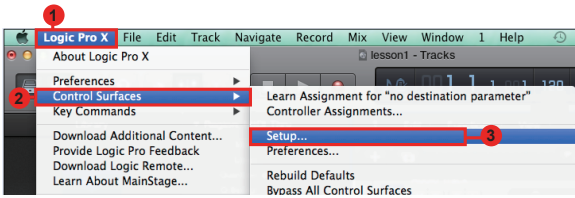
# Bitwig



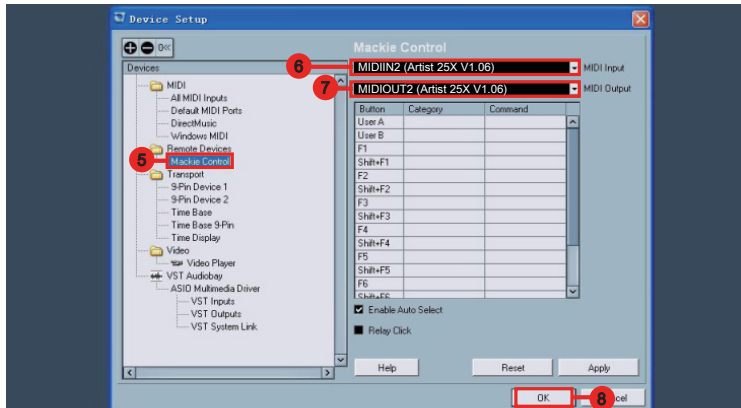
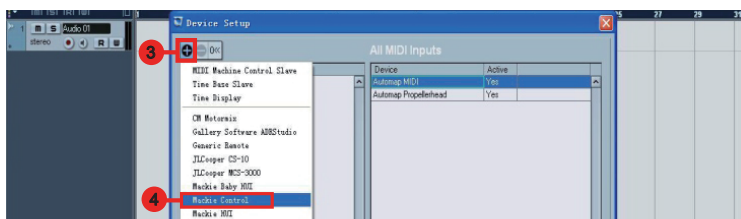
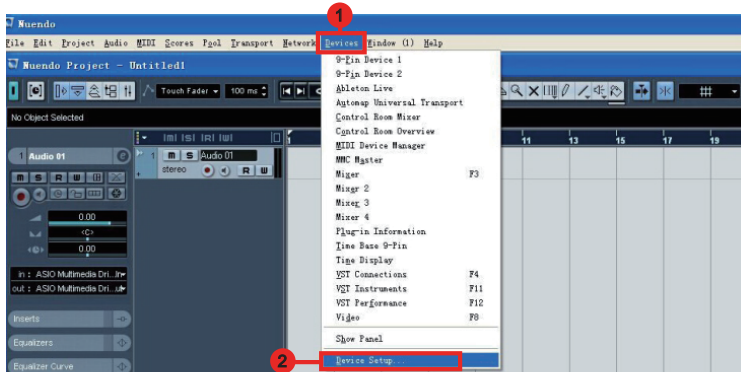
# Cubase



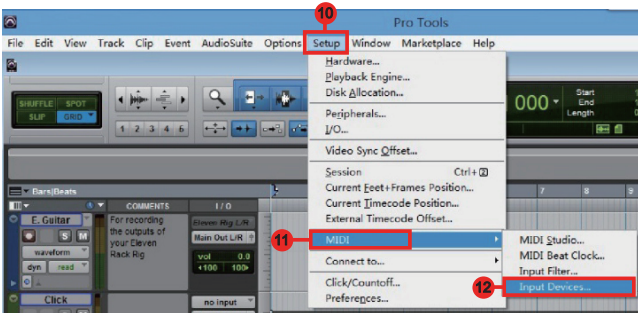
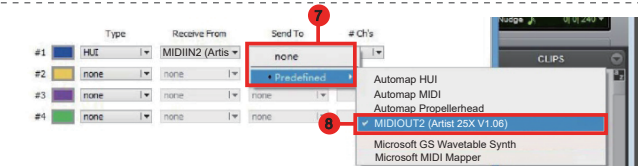
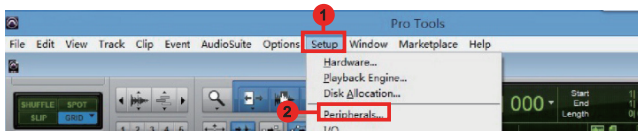
# Logic Pro



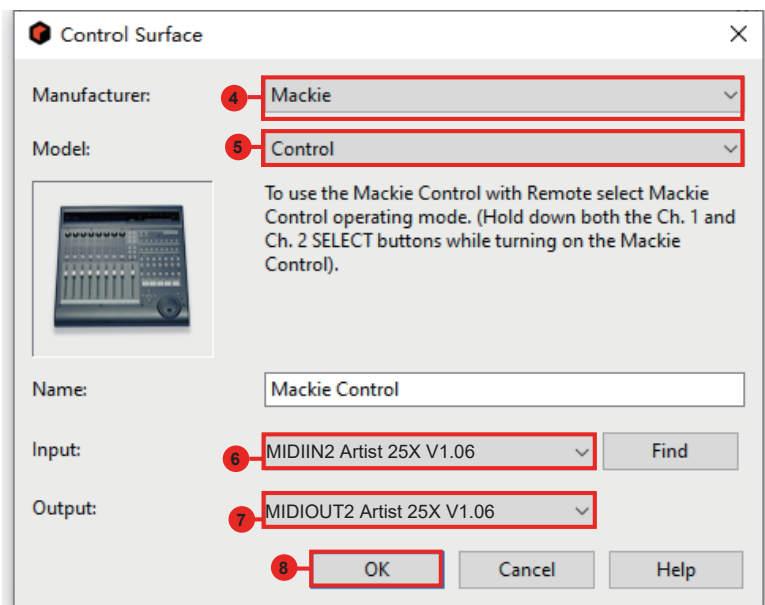
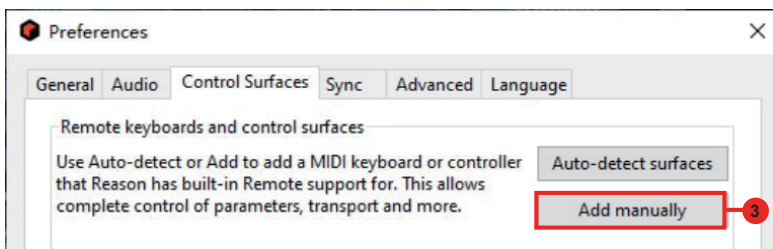
# Nuendo



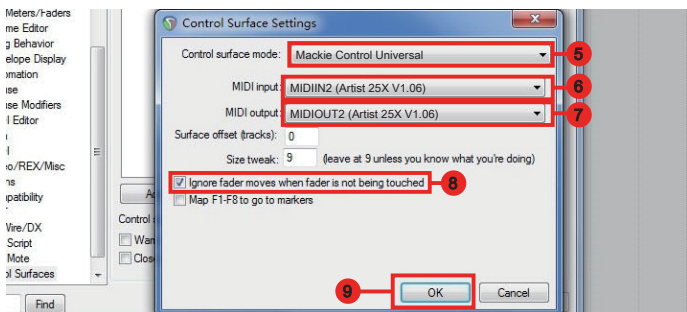
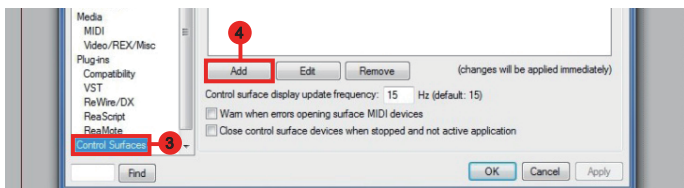
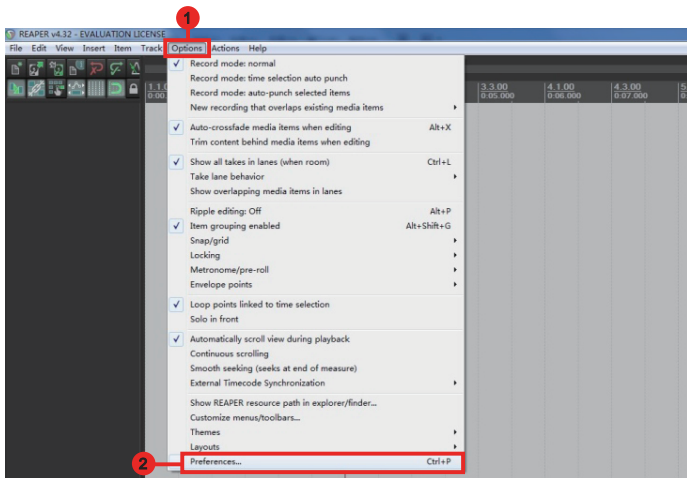
# Pro Tools



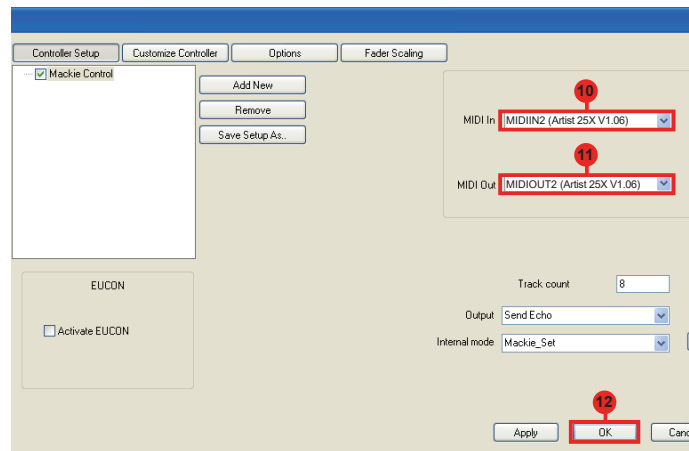
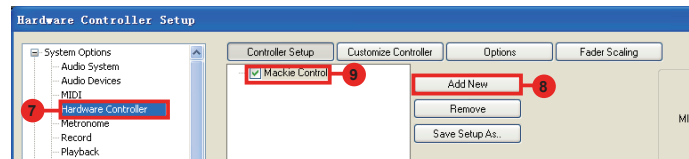
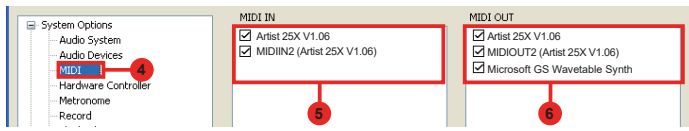
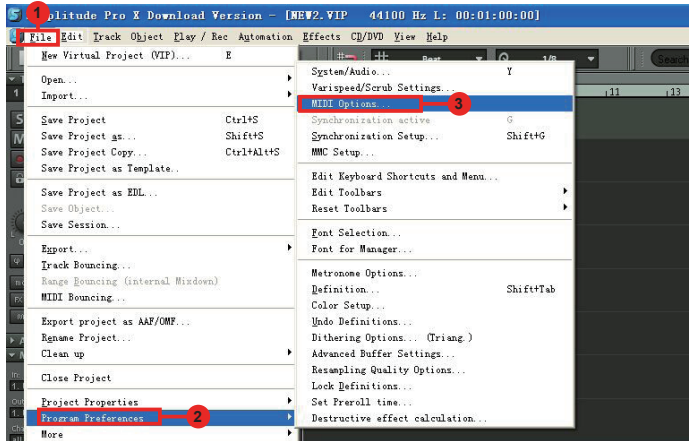
# Reason



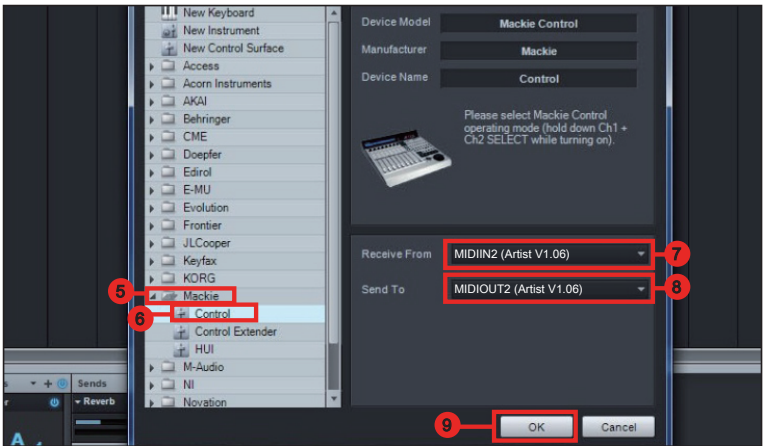
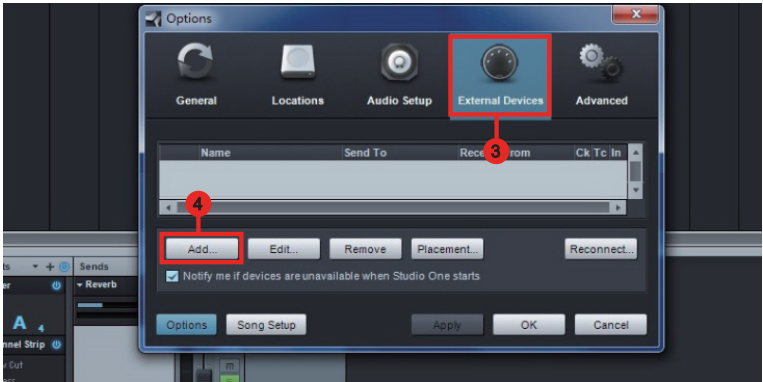
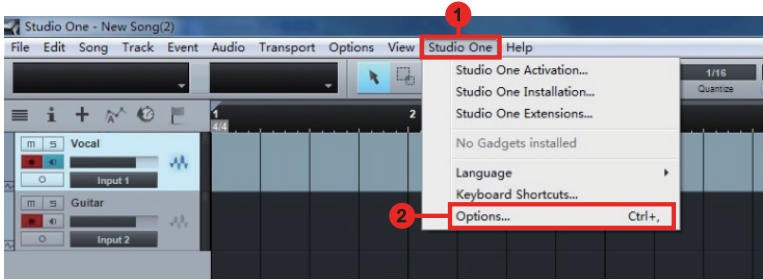
# Reaper



# Samplitude



# Studio One



# 日常使用時



## WiMAP のダウンロード・インストール、および DAW との接続が完了したら：

Artist X を DAW で使用する際は、DAW を起動する前にキーボードの電源を入れることをおすすめします。これにより、DAW 起動時にデバイスが正しく認識されます。iMAP ソフトウェアを使用する場合は、先に DAW をすべて終了してください。Artist X は一度に 1 つのアプリケーションとしか通信できないためです。多くの場合、iMAP の起動とキーボードの電源投入の順序は問いません。ただし一部の PC 環境では、キーボード電源投入前に iMAP を起動すると、接続が切れた状態と表示される場合があります。その際はキーボード接続後に iMAP を再起動してください。



# Artist X を DAW コントローラーとして使用する

**注:** Artist X は Mackie Control または HUI プロトコルを使用して標準 MIDI メッセージを送信しますが、これらのメッセージの解釈方法は DAW によって異なる場合があります。

例えば、エンコーダーを押すと、Cubase などの一部 DAW ではモニターレベルを制御しますが、他の DAW では反応しない、または PAN 位置を中央にリセットするなど別の動作をする場合があります。

同様に、スクラブモードが一部の DAW で完全にサポートされていても、他の環境では無視されることがあります。


これらの違いは Artist X に起因するものではなく、各 DAW が標準コントロールサーフェスメッセージをどのように実装・応答するかによるものです。

## トランスポートコントロール

- **Play / Stop / Rec** – 標準の再生・録音機能です。
- **Rewind / Fast Forward** – タイムライン上を前後にジャンプします。
- **Loop** – ループ再生のオン・オフを切り替えます。

## トラック・バンクナビゲーション

- **Track** </> – フォーカスを左右 1 トラックずつ移動します。
- **Bank** </> – 8 トラック単位でジャンプします。
- **Master** – フェーダーをマスター出力制御に割り当てます。

 **注:** 一部の DAW では、バンク切り替え時に画面上の選択トラックが更新されなかったり、視覚的なフィードバックが表示されなかったりする場合があります。

ユーザー定義モードでは、ボタンライト、LED、ディスプレイの再プログラムはできません。

ユーザー定義モード使用時は、これらの要素の機能が制限されるか、まったく動作しない場合があります。

通常の DAW 操作には、対応する DAW モードを選択してください。

## フェーダー & エンコーダー

- **タッチフェーダー** – 現在選択中のトラック音量を調整します。
- **Pan ボタン** – パンモードを有効にします。エンコーダーで選択チャンネルのステレオパンを制御します。
- **エンコーダー（回転）** – パン位置を調整します（パンモード時）。
- **エンコーダー（押し）** – Cubase など一部の DAW でモニター機能を制御します。その他の DAW では、パンを中央位置に戻すなど別の動作をする場合があります。

△ **注:**エンコーダーを押した際の機能は DAW によって異なります。  
例えば Cubase ではモニター機能をオンにしますが、他の DAW では未割り当て、または別の機能に割り当てられている場合があります。  
ジョグモード中にエンコーダーを押しても機能しません。  
下記の表を参照してください。

DAW	デフォルト	ジョグモード
Nuendo/Cubase	モニター機能	-----
Logic Pro	パンを中央に戻す	-----
Samplitude	未インストール	-----
Ableton Live	パンを中央に戻す	-----
Pro Tools	-----	-----
Reaper	パンを中央に戻す	-----
Studio One	パンを中央に戻す	-----
Reason	未インストール	-----
Bitwig	パンを中央に戻す	-----

- **Flip ボタン** – フェーダーとエンコーダーの役割を入れ替え、パン、音量、プラグインパラメーターを柔軟に制御できます。

## ジョグコントロール

- **Jog ボタン** – ジョグモードを有効にします。エンコーダーがジョグホイールとなり、タイムラインをスクロールできます。

## オートメーション&チャンネル機能

- **Read / Write** – 選択トラックのオートメーション読み込み・書き込みモードを切り替えます。
- **Rec / Solo / Mute** – 現在のトラックを録音待機、ソロ、ミュートにします。

△ **注:**オートメーション状態やトラック状態の表示（ランプ点灯など）は、使用している DAW が Mackie Control のフィードバック信号に対応しているかに依存します。  
機能が有効であっても、一部の DAW ではボタンランプが点灯しない場合があります。

## Program ボタンの使用 (オプション)

Program ボタンをエンコーダーと併用すると、プログラムチェンジメッセージが送信されます。

これは通常、General MIDI 音源モジュールや対応ソフトウェア音源のパッチ切り替えに使用されます。

- ⚠ **注:**近年の多くの DAW・バーチャルインストゥルメントは、初期設定でプログラムチェンジメッセージを無視します。  
この機能を使用するには、使用する音源またはモジュールがプログラムチェンジメッセージに対応・受信可能であることを確認してください。

PProgram ボタンを 2 回押して点滅状態にすると、MIDI チャンネル 1~16 を選択できません。

## モジュレーションホイール & ピッチホイール

- モジュレーションホイール – 初期設定で MIDI CC 1 を送信します。  
シンセサイザーやバーチャルインストゥルメントにおいて、ビブラート、フィルターカットオフ、モジュレーションエフェクトの制御に一般的に使用され  
ます。  
多くの DAW・プラグインで割り当て変更が可能です。
  - ピッチホイール – ピッチバンドメッセージを送信し、音程を滑らかに変化させる表現（バンド、グライドなど）が可能です。  
大半のソフトウェア音源は初期状態でピッチバンドに対応しています。
- ⚠ **注:**ピッチバンドの反応は DAW と音源の両方に依存します。  
一部のシンセでは、範囲が制限されていたり、明示的に有効にしないとピッチデータを無視したりする場合があります。  
サステインペダル & エクスプレ

## セッションペダル

- サステインペダル（ジャック入力） – MIDI CC 64 を送信し、音を持続させるために使用されます。  
大半のピアノ・シンセプラグインで自動的に動作します。
  - エクスプレッションペダル（ジャック入力） – 初期設定で MIDI CC 11 を送信します。  
対応プラグインにおいて、音量、フィルター深度、その他割り当て可能なパラメーターをダイナミックに制御できます。
- ⚠ **注:**ペダルの機能は、ペダルの種類（モーメンタリー型／コンティニユアス型など）と正しい極性設定に依存します。  
反応が想定外の場合は、DAW またはプラグインの設定を確認してください。

## トランスポーズ <</>> キー

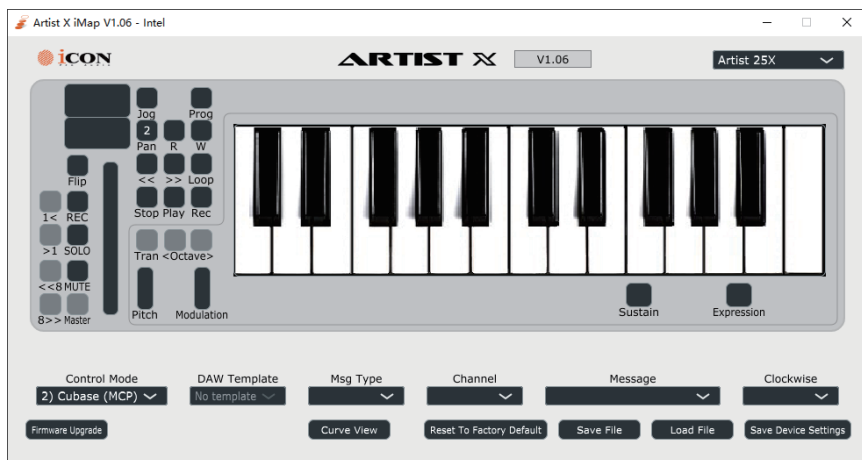
- **オクターブ <</>> ボタン** – キーボードの演奏可能音域を全オクターブ単位で上下にシフトします。  
これにより、ご使用の Artist X 本体のキー範囲を超えた音（低音ベースから高音リードまで）を演奏できます。
- **トランスポーズ機能** – Transpose ボタンを押した後、<</>> を押すと、音域をオクターブ単位ではなく半音単位でシフトします。  
異なるキーや調律に合わせる際に便利です。  
例：Transpose + >> を押すと、すべての音が半音上がります（C のキーを押すと C# が送信されます）。

△ **注:**トランスポーズは出力される全ての MIDI ノートデータに影響するため、マッピングされたドラムトリガーやスケール依存のプラグインに影響する場合があります。

### トラブルシューティングのヒント

- DAW を起動する前に、必ずキーボードの電源を入れてください。
- DAW コントロールが反応しない場合は、MIDI IN2/MIDI OUT2 がコントロールサーフェスに割り当てられているか確認してください。
- iMAP の設定を保存した後、DAW と Artist X の両方を再起動してみてください。

# iMAP™ の使用方法



このセクションでは、iMAP ソフトウェアの使用方法、および各種設定を選択する理由について解説します。

Artist X を iMAP と連携させるための詳細な手順と実用的な例を含みます。

MIDI は非常に広範なテーマであり、本書では可能な限り多くの内容をカバーしていますが、すべての MIDI 実装（例：Artist X のようなデバイスが MIDI で送信できる情報や、他の機器との接続方法など）を完全に網羅することは本マニュアルの範囲を超えます。

インターネット上には MIDI に関する豊富な情報があります。Artist X を外部シンセサイザーなどと接続して使用する場合は、各メーカーのドキュメントを参照してください。

多くのユーザーにとって、iMAP は DAW モードの選択にのみ使用されます。高度な MIDI カスタマイズを行いたい場合、iMAP ではアサイン設定やベロシティカーブなどを自由に編集できます。

本セクションは Artist X 本体ではなく、iMAP ソフトウェアに関する説明であることにご注意ください。明確にするため、iMAP ソフトウェアに関する各ページには青い「iMAP」マークが付記されています。

**大半のユーザーにとっては、DAW モードを選択して Artist X を接続するだけで使用可能であり、追加設定は不要です。**

MIDI の世界をより深く探求したいユーザーは、以降の内容をお読みください。

# MIDI 機能のアサイン設定

iMAP™ を使用して、Artist X の MIDI 機能を簡単に割り当てることができます。

**注：** Artist X が Mac/PC に接続されていない場合、iMAP のグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) 左上に「Disconnected (未接続)」と表示されます。付属の USB ケーブルで Artist X を Mac/PC に接続してください。



## iMAP™ Artist X ソフトウェアパネル

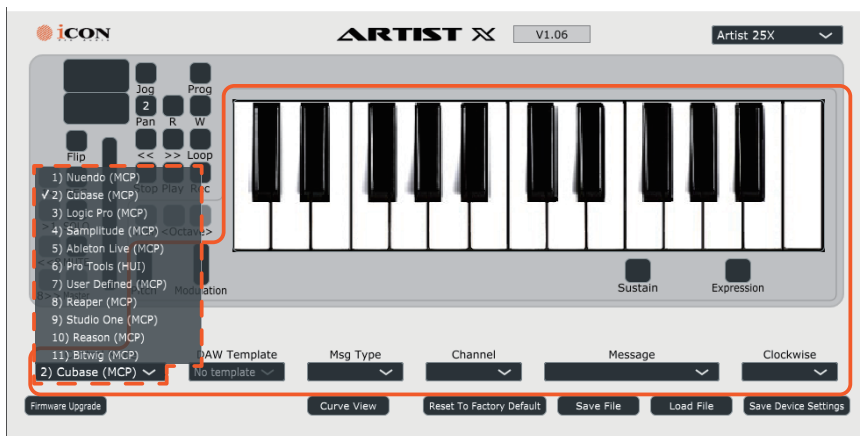
iMAP ソフトウェアは 4 つの主要セクションで構成されていると理解すると便利です (図解と詳細な説明は下記および後続ページを参照)。

**A) アサイン設定セクション**—主に 2 つのモードがあります。

**A1：アサイン：デフォルトモード**

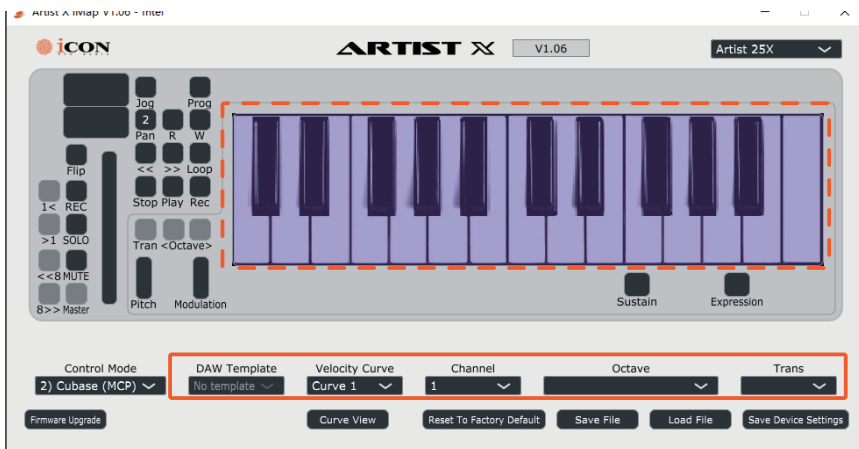
iMAP 起動時に自動的に読み込まれる標準設定です。

一部の物理コントロールを任意の CC 値に再マップする機能が含まれます。



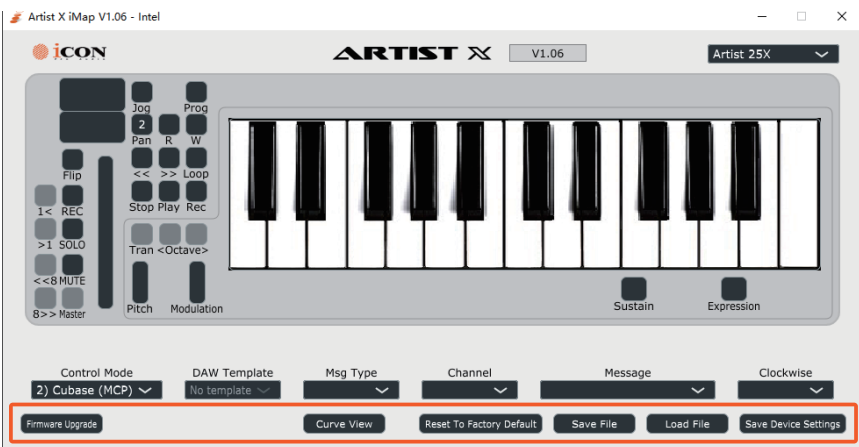
## A2: アサイン: 鍵盤演奏設定モード

鍵盤の反応を調整するモードです。例: ベロシティカーブの変更、使用オクターブの選択。このモードに切り替えるには、iMAP内の鍵盤表示エリアをクリックしてください。エリアが紫色で強調表示され、下部のドロップダウンメニューが鍵盤固有の設定項目に切り替わります。



## B) 一般設定セクション

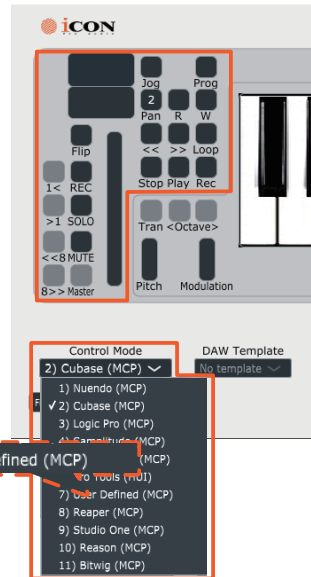
ソフトウェアの「管理エリア」と考えてください。設定ファイルの読み込み・保存、本体への設定書き込み、ファームウェアアップデートモードへの移行が行えます。



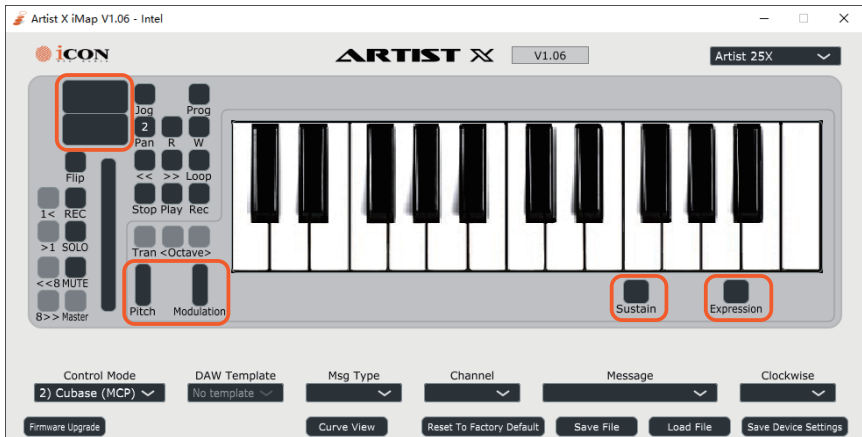
### C) DAW コントローラー

対応 10 種類の DAW の操作コントロールです。DAW 内のミニミキシングコンソールのように、トランスポート、フェーダー、PAN・ジョグ用ロータリーエンコーダー、ナビゲーションボタンで構成されます。

「Control Mode」ドロップダウンメニューから、対応 DAW10 種類のいずれか（またはユーザー定義モード）を選択できます。



### D) その他のコントロール ホイール類、ペダル、ロータリーエンコーダー

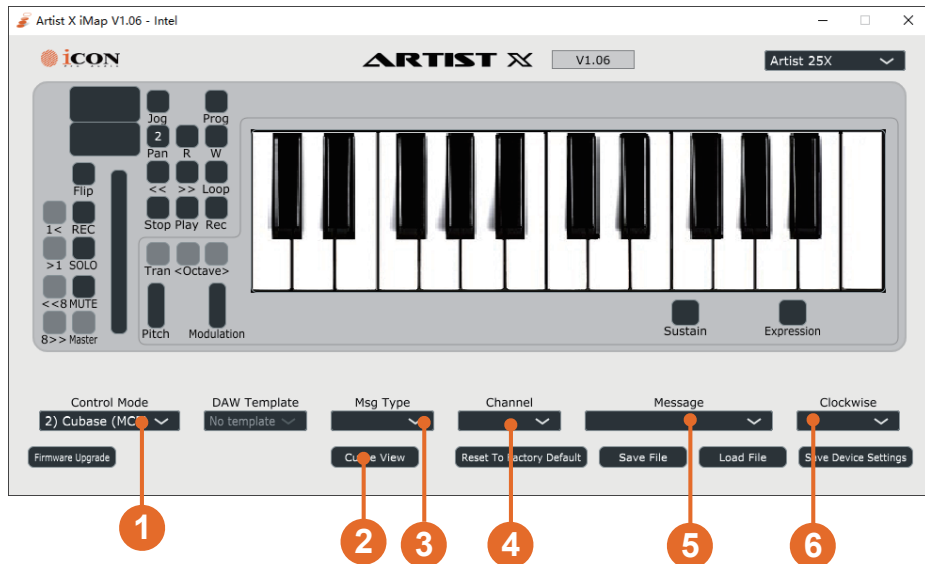


## A1 - アサイン：デフォルトモード

アサイン可能な要素には、キースイッチ、ベロシティカーブ、モジュレーション／ピッチベンドホイール、サステイン・エクスプレッションペダル、トランスポーズ & オクターブボタンが含まれます（クリックして選択すると、選択したコントロールが紫色で強調表示されます）。ユーザーがアサインできない要素もあり（薄い灰色で表示）、アサイン可能な要素は以下のドロップダウンメニューで設定できます。

### ドロップダウンメニュー群（1～5）

計5つのメニュー群は、選択中のモードに応じて表示内容が変わります。図は「キーボードアサイン」または「デフォルト」モードを示しています。



### 1. Control Mode（コントロールモード）

対応する 10 種類の DAW のいずれかを選択できます。Artist X の DAW コントロール部を使用して DAW 上で正しく操作するために必須の設定です。上級ユーザーはユーザー定義モードも選択できます。

### 2. Curve View（カーブ表示）

現在使用中のベロシティカーブを表示するウィンドウを開きます（詳細は 68 ページを参照）。

### 3. Msg Type（メッセージ種別）

キーボードの各要素が送信する MIDI メッセージの種類を示します。CC（コントロールチェンジ）、Note（音符：オンオフ形式の MIDI メッセージとしてアサイン可能。ドラムやサンプリトリガーに最適）、Pitchbend Program（General MIDI 音源のバッチ／音色切り替え用）、iMAP 内のキーボード表示をクリックして「鍵盤演奏設定モード」に切り替えると、このメニューはベロシティカーブの選択に変わります。

## 4. Channel (チャンネル)

MIDI チャンネル 1 ~ 16 を割り当てます。選択した機能に対して指定したチャンネルが適用されます。

## 5. Messages (メッセージ)

Artist X のアサイン可能パラメータは、標準 MIDI コントロールチェンジ (CC) 値 (0 ~ 127) に対応しており、メニューに表示されます。すべての CC 値が音楽的に有効、またはすべてのコントロール種別に適合するわけではありません。例えば、音量などの連続的なパラメータをボタンのようなオンオフコントロールに割り当てると、最小値と最大値の間で急激に切り替わる場合があります。

Msg Type で「Note」を選択すると、メニューには A#、B などの音階とオクターブ位置が表示され (中央ドは C4)、「Program」を選択すると 0 ~ 127 の音色番号が選択可能になります。ピッチベンドは固定値を使用しないため、このメッセージ種別では選択肢がグレーアウトします。

## 6. Clockwise / Sustain (時計回り / サステイン)

### *Clockwise* (時計回り)

このメニューは、ペダルを選択しているかどうかで表示が変わります。サステインまたはエクスプレッションをクリックすると、メニュー名が「Sustain」に変わります。

初期状態は「Clockwise」ですが、この機能はユーザー定義モードでのみ有効です。

Control Mode で「User Defined」を選択し、ロータリーエンコーダーの上部 (左右回転部分。下部はプッシュボタン) を選択した状態で「Anti-clockwise」を選ぶと、エンコーダーの動作が反転し、左回転で値が上昇するようになります。

### *Sustain*

iCON SPD-01 などのモーメンタリーペダルを Artist X のサステイン端子に接続すると、ピアノのようなサステインペダルとして使用できます。

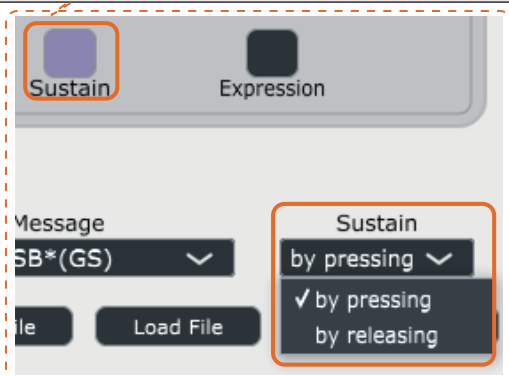
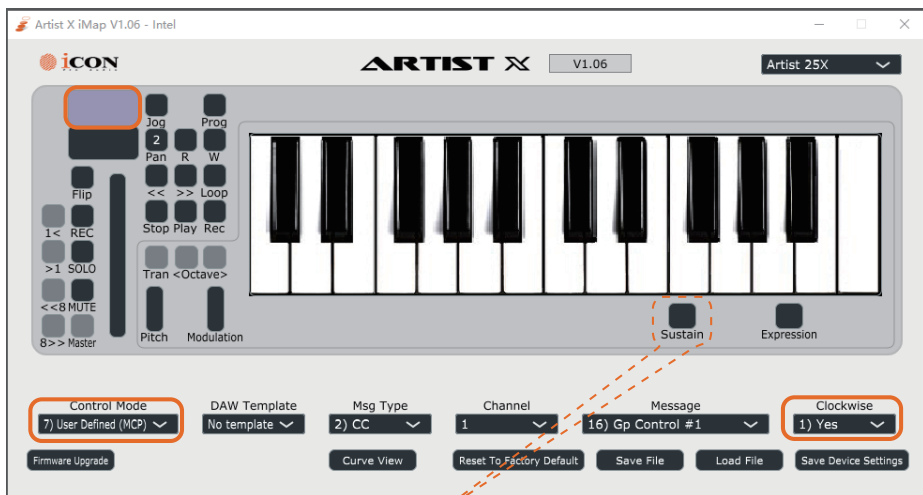
iMAP 上の「Sustain」ボタンをクリックすると、メニューが「Clockwise」から「Sustain」に切り替わり、オプションのサステインペダル設定を行えます。

サステインペダルには 2 つの動作モードがあります。

by pressing : ペダルを踏んだときにサステインオン

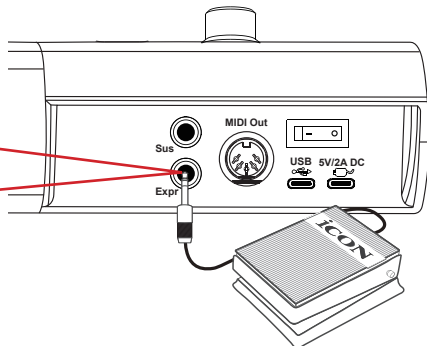
by releasing : ペダルを離れたときにサステインオン (極性反転)

Sustain ボタンが紫色でアクティブ表示されている状態で、これらのモードを切り替えられます。



「踏んだとき (By Pressing)」が初期設定であり、ピアノにおける標準的なサステインの動作です。これを反転させたい場合は「離れたとき (By Releasing)」を選択してください。これは「極性反転」とも呼ばれます。一部のペダルには底面に極性切り替えスイッチ (a) が搭載されている場合があります。この機能がある場合は、ハードウェア側で素早く切り替えると便利です。

「By Releasing」を選択すると、6.35mm (1/4 インチ) ペダル入力の極性が反転し、極性切り替えスイッチ付きペダルと同じ効果が得られます。どちらの方法でも結果は完全に同一です。

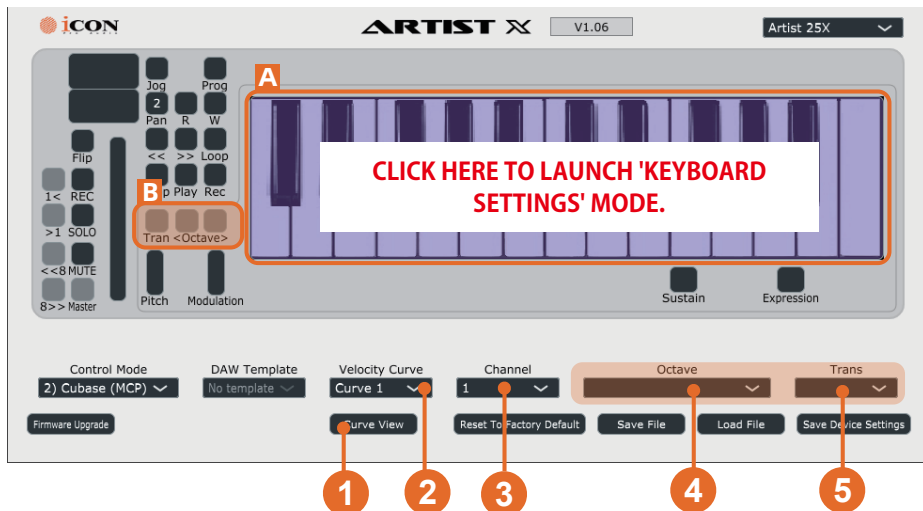


## A2 - アサイン：鍵盤演奏設定モード

このモードでは、Artist X の鍵盤部分の反応を調整します。  
iMAP 上の鍵盤表示をクリックし、紫色で強調表示された状態にすることでこのモードに切り替わります。

### ドロップダウンメニュー群 (1 ~ 5)

鍵盤設定モードでは、この 5 つのメニュー群の表示内容が変化します。



**A** : iMAP のこのエリアをクリックすると「鍵盤演奏設定モード」が起動します。メニュー群で調整した値を使用して、ベロシティカーブの選択、独自のカスタムカーブ作成、オクターブ単位・半音単位でのキーボードトランスポーズが行えます。

また、鍵盤本体が使用する MIDI チャンネル (MIDI ポート 1 経由) も選択可能です。

**B** : iMAP 上では Transpose と Octave ボタンがグレーアウトされ機能しません (本体の物理ボタンは通常通り使用できます)。

iMAP 上でのトランスポーズとオクターブ変更は、ドロップダウンメニュー 4 および 5 で実行してください。

### 1. Curve View (カーブ表示)

「鍵盤演奏設定モード」では、このボタンをクリックすると、隣の「Velocity Curve」メニューで選択したベロシティカーブを表示するウィンドウが開きます。

「Velocity Curve」で「カスタムカーブ」を選択している場合、マウスでノードを選択して移動させ、カーブを編集できます。

「Reset to Custom Curve」を押すと、カスタムカーブが工場出荷時設定にリセットされます。

OKを押してウィンドウを閉じます。詳細は 68 ページを参照してください。

## 2. Velocity Curve (ベロシティカーブ)

鍵盤表示をクリックして紫色に強調表示し「鍵盤演奏設定モード」に切り替えると、このドロップダウンメニューが「Msg Type」から「Velocity Curve」に変わります。

ベロシティカーブは、キーを押す強さ（または速さ）を MIDI ベロシティ値に変換する設定で、通常は音の音量や強弱を制御します。

7種類のカークから選択できるほか、5つの調整ノードを使って独自の「カスタムカーブ」を作成・編集できます。

「Curve View」をクリックすると、各カーブのグラフを確認できます（前ページの図を参照）。ドロップダウンから「Custom Curve」を選び、紫色の丸い5つのノードをドラッグしてカーブを調整してください。変更はリアルタイムでキーボードの動作に反映されます。設定を本体に保存するには「Save Device Settings」をクリックしてください。iMAP ファイルとして保存する場合は「Save File」を選択します。詳細は 68～75 ページを参照してください。

## 3. Channel (チャンネル)

MIDI チャンネル 1～16 を選択します。このチャンネルが、Artist X の鍵盤演奏部から MIDI データを送信する際に使用されます。

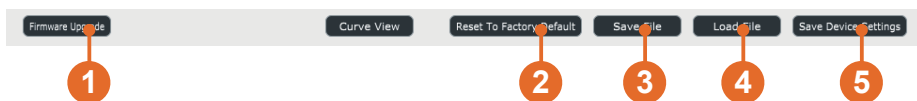
## 4. Octave (オクターブ)

このメニューを使用して、キーボード全体の音域を全オクターブ単位で上下にシフトできます。物理キーの範囲外の音も演奏可能になります。メニューの数値を選ぶと、すべてのキーが ± 12 半音シフトします。例：キーボードが C3 の状態で「+1」を選ぶと、出力は C4 になります。オクターブシフトは変更またはリセットするまで有効で、接続された DAW や MIDI 対応機器に反映されます。本体のボタンでも同様の設定が可能です。

## 5. Trans (Transpose : トランスポーズ)

キーボードで演奏する音程をオクターブ未満で上げ下げし、演奏キーを変更できます。例：C メジャーで演奏している場合、「+4」を選ぶと出力が +4 半音シフトし、C を押すと E が送信されます。この変更はすべての MIDI ノート出力に影響し、リセットまたは変更するまで有効です。DAW や MIDI 環境上で結果が確認できます。本体でもトランスポーズ設定は可能です。

## B - 一般設定



### 1. ファームウェアアップグレード

このボタンをクリックすると、Artist X のファームウェアアップデートウィンドウが開きます。詳しい手順は 78 ページを参照してください。

### 2. 工場出荷時設定にリセット

iMAP を工場出荷時の状態にリセットする場合はこのボタンをクリックしてください。キーボード本体も同時にリセットしたい場合は、このボタンを押したあと「Save Device Settings」をタップし、デフォルト設定を本体に書き込んでください。

### 3. ファイル保存

iMAP の設定をコンピューター上の任意の場所にファイルとして保存します。拡張子は .imap です。

### 4. ファイル読み込み

iMAP™ の設定ファイルを Artist X に読み込む場合にクリックします。

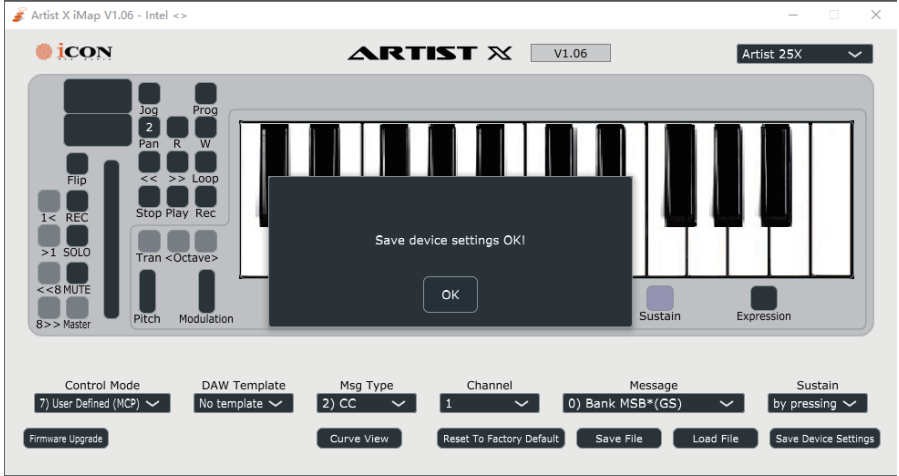
**注：**imap ファイルは複数保存し、必要に応じて読み込むことができます。

例えば、ライブ用に MIDI マップを作成した場合は live.imap として保存し、スタジオ／レコーディング時にはデフォルト設定に戻す、といった使い分けが可能です。

### 5. デバイス設定を保存

iMAP の設定をキーボード本体に送信するボタンです。データ送信が完了すると確認メッセージが表示されます。この操作を行う際は、オーディオインターフェースやその他の MIDI 機器などの周辺機器の電源を切るか接続を解除することを推奨します。これにより、コンピューターとのデータ通信が安定して行えます。

**注：**設定は iMAP 上で変更すると即時にキーボード本体へ送信されます。「Save Device Settings」ボタンは、これらの設定を恒久的に保存するために使用します（キーボードの電源をオフ・オンした後も設定が保持されます）。



## C-DAW コントローラーセクション

### DAW モード

DAW モードとは、iMAP の Control Mode ドロップダウンメニューで、Cubase や Ableton など特定の DAW が選択されている状態を指し（ユーザー定義モード以外）です。

Artist X は選択されている DAW モードを即時に認識します（この設定を保存する場合は「Save Device Settings」をクリックしてください）。

Artist X が DAW モードに設定されている場合、トランスポートボタン、フェーダー、エンコーダーなどの多くのハードウェアコントロールは、Mackie Control Protocol (MCP) などの標準プロトコルを使用して一般的な DAW 機能に自動的にマッピングされます。これらのアサインはプリセットされており、iMAP 上で編集することはできません。

ほとんどの DAW 機能は固定されていますが、iMAP では各ボタンやコントロールが送信する MIDI メッセージをリアルタイムで確認できます（Messages ドロップダウンメニュー内のグレースアウトされた情報欄で表示）。

DAW モードでは、ペダルやモジュレーションホイールなど一部のコントロールは変更可能ですが、フェーダー、トランスポート、エンコーダー機能の編集はできません。

ボタンやその他のコントロールを自由にアサインするには、「User Defined（ユーザー定義）」モードを選択する必要があります。

DAW によっては、DAW モードの各コントロールへの反応が一部異なる場合があります。これは各 DAW ソフトが Mackie Control または HUI の実装方法に違いがあるためです。

### ユーザー定義モード

ユーザー定義モードは文字通り、ユーザーが任意の MIDI メッセージを各コントロールに自由に割り当てられるモードです。

このモードでは DAW コントロールの割り当てが解除され、ユーザーの仕様に合わせて再マップできます。

**ご注意：**

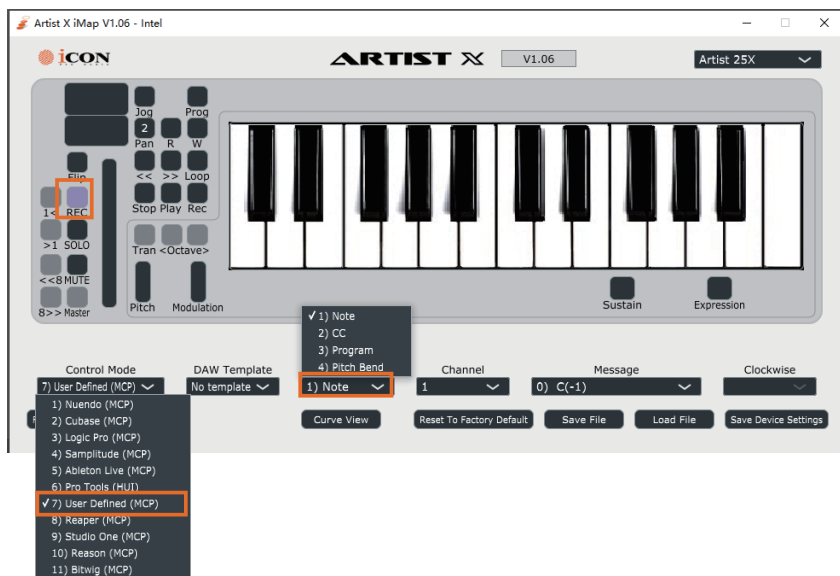
すでに設定されている MIDI メッセージは上書きされ、元に戻すことはできません。そのため、コントロールの再マップ作業を行う場合は、「Save File」でコンピューターに設定を保存しておくことを推奨します。

MIDI の使用経験が豊富で、DAW および一般的な MIDI メッセージに関する十分な知識がない限り、ユーザー定義モードの使用は避けることをお勧めします。

経験豊富なユーザーであっても、このモードをデバイスの広範な再マップに使用せず、必要に応じて特定のタスクにのみ使用することを推奨します。

**ほとんどのユーザーはユーザー定義モードを必要としません。**

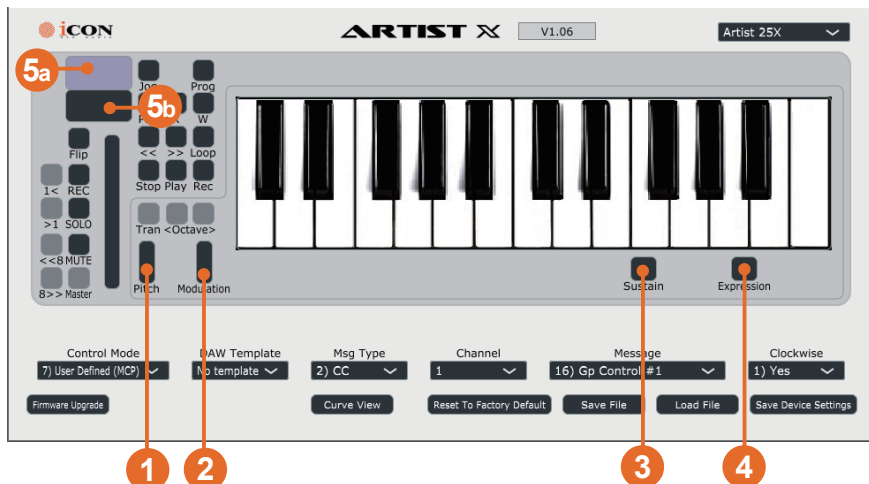
**注：** iMAP のユーザー定義機能は近日中に更新され、DAW 専用のドロップダウンメニューが追加されます。「User Defined」を選択した後、ユーザーは使用する DAW を選択できるようになり、その DAW のデフォルトレイアウトを基にカスタムマッピングを作成できるようになります。



ユーザー定義モードでは、ほとんどのコントロール要素が再マップ可能になります。デバイスの各要素を再マップする際、Note、CC、Program、Pitch Bend のいずれかの値を選択できます。

なお、鍵盤部分（単一キーを含む）は再マップできませんのでご注意ください。

## D-その他のコントロール（ホイール、ペダル、ロータリーエンコーダー）



### 1. ピッチ（ピッチホイール）

ピッチホイールはキーボード左側に配置されたスプリング式コントローラーです。演奏中にリアルタイムで音程を上下させ、ギターやバイオリンのような楽器の表情豊かなピッチ変化を再現できます。標準設定では通常のMIDI CC値を使用せず、専用の高解像度ピッチバンドメッセージを送信するため、滑らかで細かいピッチ操作が可能です。多くのDAWやバーチャルインストゥルメントはピッチホイールの動きに即時反応するため、表情豊かな演奏に欠かせないコントロールです。クリックで強調表示し、必要に応じてドロップダウンメニューで値を変更できます。

### 2. モジュレーション

モジュレーションホイールは一般的にビブラート、トレモロ、フィルタースweepなどの時間軸効果を付与するために使用されます。MIDI CC1 データを送信し、シンセサイザーやサンプルライブラリで標準でマップされていることが多いです。ピッチホイールと異なり、ホイールはその位置に保持されるため、持続的なモジュレーションが可能です。機能はインストゥルメントによって異なり、例えばビブラートの深さを上げたりフィルターを開いたりします。他のCC値に再割り当てすることも可能ですが、CC1は多くのバーチャルインストゥルメントで標準対応しています。「Mod」をクリックして紫色に強調表示し、MessageメニューでCC値を指定してください。

### 3. サステイン

iCON SPD-01などのオプションモーメンタリーペダルをキーボードの専用サステイン入力に接続すると、ピアノのサステインペダルと同じ機能を再現します。踏むとMIDI CC64 データを送信し、キーを離しても音を持続させます。マウスで「Sustain」ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューで別のMIDIメッセージを割り当てることも可能ですが、これによりピアノ標準の動作が失われます。また、CC66などを使用するとピアノ中央のソステヌートペダルのように、ペダルを踏んだ時点で押されている音のみを持続させることもできます。ペダ

ルの極性を反転させるには、Sustain を紫色で選択した状態でドロップダウンから「By releasing」を選択するか、ペダル底面のスイッチがあればそちらで切り替えてください。

#### 4. エクスプレッション

エクスプレッションペダルはボリュームペダルに似ていますが、ダイナミクスや強弱をより繊細にリアルタイム制御できます。MIDI CC11 データを送信し、オーケストラルやシネマティック音源で感情的な演奏の輪郭を作るためによく使用され、滑らかなクレッシェンドやデクレッシェンドが可能です。多くのバーチャルインストゥルメント、特にベロシティやモジュレーションによるアーティキュレーションを持つ音源では CC11 でダイナミクスを制御します。他の CC 値に割り当てられることも可能ですが、CC11 標準マッピングに依存するライブリとの互換性が低下する場合があります。

エクスプレッション (CC11) とモジュレーション (CC1) の併用は、バーチャルオーケストラ音源で一般的です。オプションペダルによるエクスプレッションと、DAW での録音・演奏・オートメーション時のモジュレーションホイールの組み合わせは非常に強力です。「Expression」ボタンをクリックして紫色に強調表示し、ドロップダウンメニューで MIDI メッセージを割り当てると、ペダルの動作を変更できます。

#### 5. ロータリーエンコーダー

本体上では一体型のエンコーダーですが、iMAP 上では明確化のため 2 つのセクションに分かれて表示されます。これにより、**a)** 左右回転部と **b)** プッシュボタン部の 2 つの独立要素をそれぞれ再マップできます。標準設定では A が PAN、B が MONITOR または PAN ノブを中央 C にリセットする機能などに割り当てられています。ユーザー定義モードのみ、Clockwise メニューで回転方向を反転できます (標準モードでは不可)。

また、ロータリーエンコーダーは DAW 内でジョグホイールとしても機能します。Jog ボタンを押してこの機能を起動し、プッシュボタンでスクラブ機能を使用できます (この機能は DAW に依存します)。

## CC、Note、Program、Pitchbend 値：概要

### CC (コントロールチェンジ)

コントロールチェンジ (CC) メッセージは、ノブ、スライダー、ペダル操作などのパラメーターをリアルタイムで調整するために使用されます。

CCは、音量、パン、モジュレーション、サステイン、エクスプレッション、フィルターカットオフ、リバーブ量などの制御に利用できます。

さらに、DAW 上でプラグインパラメーターをオートメーション化し、ハードウェアコントロールをバーチャルインストゥルメントやエフェクトにマップすることも可能です (MIDI Learn 機能を使用。詳細は DAW のマニュアルを参照)。

### Note (ノート)

ノートメッセージは、DAW またはインストゥルメントに対して特定の音を演奏するよう指示します。

ノート値が設定されたボタンを押すと「Note On」メッセージが送信され、ソフトウェアまたはインストゥルメントに音の発音を指示します。

ボタンを離すと「Note Off」メッセージが送信され、音の停止を指示します。

このノート機能は、バーチャルインストゥルメントでサンプルをトリガーする用途に使用できます。具体的な例は「MIDI 補足：Note、Program、Pitchbend」セクション (63 ページ) に記載されています。

### Program (プログラムチェンジ)

MIDI におけるプログラムチェンジメッセージは、インストゥルメントまたはプラグインに対して、別の音色やプリセットに切り替えるよう指示します。

Program を使用すると、ピアノからオルガンへの切り替えなど音色変更や、MIDI 接続されたハードウェアシンセサイザー／サウンドモジュールのパッチ選択が可能です (接続方法は各ハードウェアのマニュアルを参照)。General MIDI シンセで特に有効です。一部のバーチャルインストゥルメントは Program 機能に対応していません。

iMAP では、対応するハードウェア／ソフトウェアインストゥルメントの場合、特定のボタンや機能 (例：Mod ペダル) をプログラムナンバー (0 ~ 127) に MIDI マップできます。

### Pitch Bend (ピッチベンド)

ピッチベンドは演奏に表情を加えるために使用され、弦楽器のベンドや人声のグリッサンドを再現し、音程を滑らかに変化させます。

上方向：音程が上がる（半音～全音のベンドなど）

下方向：音程が下がる

シンセサイザー上では、ピッチホイールを上げるとCがDにベンドし、下げるとCがA#に下がる場合があります。

**注：**

実際のピッチ範囲は使用するインストゥルメントまたはプラグインに依存します。

## MIDI についての補足

Artist Xの一部コントロールについては、CC、Note、Program、Pitch Bendといった任意のMIDI値に変更することができます。一部の値は特定のコントロール種別に適さない場合がありますが、用途によっては適切な組み合わせも存在します。

標準設定では、Artist Xのボタン、ホイール、ペダル制御（ペダル本体を除く）は業界標準に準じた特定のCC値を送信します。多くのユーザーは設定変更を必要とせず、ハードウェアのボタン、ホイール、オプションペダルのデフォルト設定のまま長期間快適に使用できます。

それでも、ソフトウェアの使用スタイルに合わせて値をカスタマイズしたい場合は、変更が可能です。

例えば、フィルターカットオフを頻繁に制御する場合、ホイールをCC74（音の明るさ制御で一般的）に割り当てると便利な場合があります。ただし、この設定を行うと元のプリセット値は解除され、再設定しない限り復元されません。

明確な目的なしにMIDI値を再割り当てするとリスクが生じます。特定のコントロールに適さない値を割り当てると問題が発生します。例えば、ボタンをCC7（音量）に割り当てると、ボタンはON/OFF信号しか送れないため、音量が最大から急に無音になるなど極端な動作を引き起こします。音量は通常、連続的な数値で制御するためです。また、新しいマッピングを忘れて、標準動作を前提とする他のユーザーと共同作業したりする場合に混乱が生じやすくなります。

DAWとの競合も発生する可能性があります。多くのDAWはオートメーション、トランスポート制御、プラグイン操作に特定のMIDI値を使用しており、これらとキーボードのCC割り当てが重複すると、ノブがプラグインパラメーターとメイン音量の両方を同時に制御するなどの不具合が起こります。モジュレーション（CC1）やサステイン（CC64）などの標準コントロールを再割り当てすると、一部のインストゥルメントが正常に反応しなくなる場合があります。

再割り当てを有効に活用するには、変更内容を明確に記録し、明確な理由がない限り標準割り当てを維持することを推奨します。また、頻繁に使用するプラグインやDAWで事前に動作確認することで、早期に問題を発見できます。

MIDI CCの再マップは、環境を自分に合わせてカスタマイズし、操作性やクリエイティビティを高める有効な手段です。

ただし強力な機能であるため、慎重に使用する必要があります。

操作に精通した上級ユーザーでない限り、Artist Xのデフォルト値を維持することを強く推奨します。

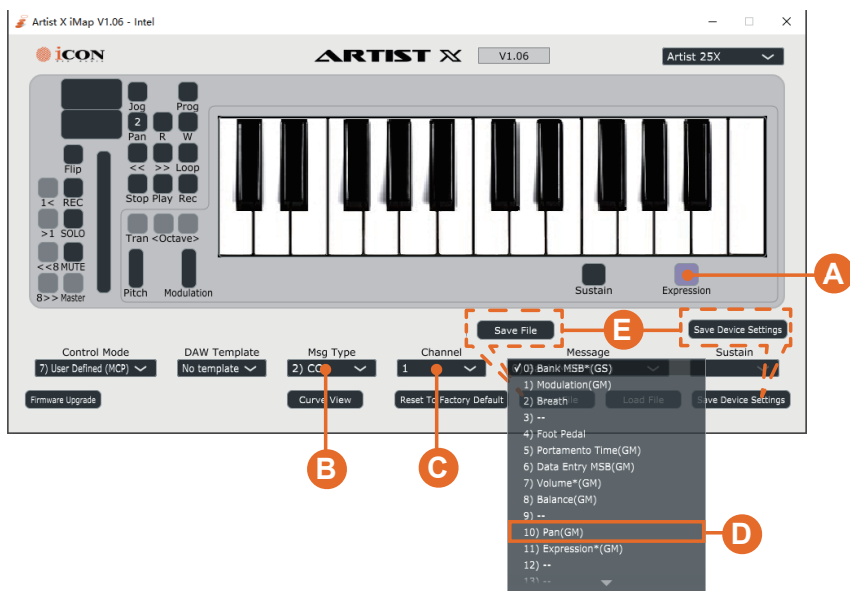
# CC 値の再マップ

Artist X の各コントロールに CC 値を割り当てる場合は、以下を参照してください。

注：CC 値および MIDI チャンネルを変更できる対象：

- a. ロータリーエンコーダーの左右回転・プッシュ機能
- b. モジュレーションホイール
- c. ピッチホイール (MIDI チャンネルのみ変更可)
- d. サステインペダル・エクスプレッションペダル

例：



手順：

- A.** プログラムするパラメーターを選択します。  
この例ではユーザーはエクスプレッションペダルを選択し、既定の CC11 (エクスプレッション) から CC10 (パン) に機能を変更したいとします。
- B.** メッセージタイプ (Msg type) のドロップダウンメニューから CC を選択します。
- C.** ペダルが動作する MIDI チャンネルを選択します。この例では MIDI チャンネル 1 を選択しています。
- D.** MIDI メッセージを選択します。  
ここでは既定の CC11 (エクスプレッション) から CC10 (パン) に変更しています。
- E.** 設定を保存し、キーボードに送信します。  
iMAP ファイルをコンピューターに保存して後で簡単に呼び出せるほか、設定内容をキーボードに書き込むこともできます。  
処理完了後、設定はキーボードに恒久保存され、電源をオフ・オンしても保持されます。

# CC 値の割り当て - 便利な CC 一覧

これらの値はユニバーサル MIDI CC 規格に準拠しています。その他のオプションは iMAP ソフトウェア内で確認できます。iMAP のドロップダウンメニューで「-」と表示されている CC 値は、General MIDI (GM) 規格では定義されていません。一部のバーチャルインストゥルメントでは、これらの値が特定の機能に割り当てられている場合があります（インストゥルメント内で設定されている場合に限る）。また、「-」の CC 値をキーボードの物理コントロールに割り当て、DAW 上のパラメーターにリンクさせることも可能です。詳細は各 DAW のマニュアルを参照してください（DAW ごとに操作方法が異なるため、統一された標準手順はありません）。

オンライン上には 128 個すべての MIDI CC 値（0 ~ 127）の一覧が公開されています。以下の表は、最も一般的に使用され、広く対応されている CC 割り当ての一部をまとめたものです。

CC 番号	コントロール名	説明
0	バンクセレクト MSB (GS)	マルチバンク対応シンセサイザーで、複数の音色バンクを切り替えるために使用します。
1	モジュレーション (GM)	通常モジュレーションホイールに割り当てられ、ビブラートまたは同様の変調を制御します。
2	ブレスコントロール	ブレスコントロールを模擬し、管楽器型コントローラーなどで使用されます。
4	フットペダル	汎用フットコントローラー（例：音量、エフェクトレベル）。
5	ポルタメントタイム (GM)	ポルタメントが有効な場合の音階間のグライド時間を調整します。
7	音量 (GM)	チャンネル全体の音量を制御します。
8	バランス (GM)	チャンネルの左右バランスを調整します。
10	パン (GM)	ステレオのパン位置を設定します。
11	エクスプレッション (GM)	ダイナミックな表情付け（クレッシェンドなど）のための副音量コントロールです。
64	ホールドペダル 1 (GM)	サステインペダルのオン/オフ。
65	ポルタメント (GS)	ポルタメントのオン/オフ。
66	ソステヌート (GS)	ソステヌートペダル機能。
67	ソフトペダル (GS)	ソフトペダル（ウナ・コルダ）制御。
68	レガートペダル	レガート奏法を有効にします。機能はインストゥルメントに依存します。
69	ホールドペダル 2	代替ホールドペダル。シンセによって機能が異なります。
74	ブライトネス（フィルターカットオフ）	音色の明るさを制御し、多くの場合ローパスフィルターのカットオフに割り当てられます。
91	リバーブレレベル (GS)	リバーブエフェクトの量を制御します。
92	トレモロデプス	トレモロエフェクトの深さを制御します。
93	コーラスレベル (GS)	コーラスエフェクトの量を制御します。
94	セレステデプス	セレステエフェクト（デチューン）の深さを制御します。
95	フェイザーデプス	フェイザーエフェクトの深さを制御します。
126	モノモードオン	機器をモノフォニックモード（1音同時発音）に設定します。
127	ポリフォニックモードオン	機器をポリフォニックモードに設定します。

## CC 値の割り当て - 例

ここでは、ロータリーエンコーダーに CC91（リバーブレベル-GS）を割り当てる手順を例として説明します。

背景：CC91 は、Roland が General MIDI（GM）を拡張した MIDI 規格 GS（General Standard）の一部です。対応するインストゥルメントやプラグインでリバーブの深さを制御するために一般的に使用されます。

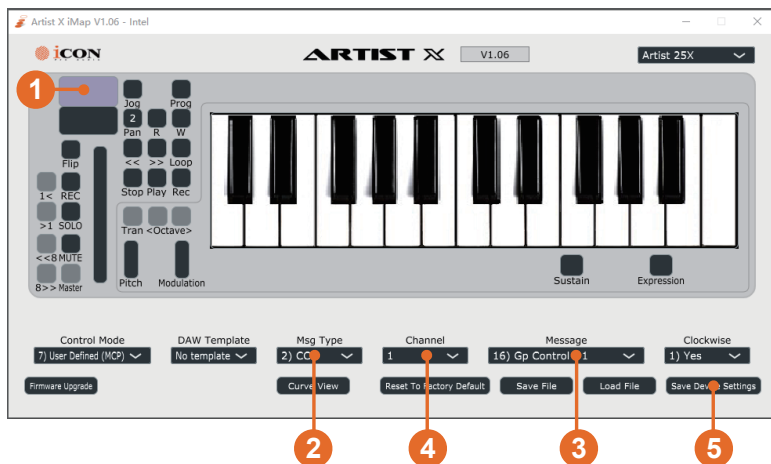
重要：CC91 は MIDI メッセージであり、サウンドエフェクト自体ではありません。CC91 を割り当てたノブを回すと、リバーブ機能を持ち、対応するよう設定されたインストゥルメントまたはプラグインに対して「リバーブを増減する」よう指示します。

本例では、内部にリバーブ制御機能を持つバーチャルインストゥルメントを使用しているものとします。

手順：

iMAP を開き、ロータリーエンコーダーの左右動作が表示される上部セクションを探し、User Defined モードを選択します。

1. ロータリーコントロールをクリックし、紫色で強調表示させます。
2. 「Msg Type」ドロップダウンメニューから「CC」を選択します。
3. Message ドロップダウンメニューで、CC ナンバーを 91（リバーブレベル-GS）に設定します。
4. 必要に応じて MIDI チャンネルを設定します（例：チャンネル 1）。
5. 「Save Device Settings」をクリックし、変更内容を Artist X キーボードに送信します。確認メッセージが表示されます。



- DAW またはインストゥルメントプラグイン内で、\*\*MIDI ラーン (MIDI Learn) \*\* 機能を使用し、CC91 をプラグインインターフェイス上のリバーブパラメーターにリンクしてください (各 DAW またはソフトウェアのマニュアルを参照)。

#### MIDI ラーンが必要な理由

ノブから CC91 が送信されるようになって、最新のバーチャルインストゥルメントやプラグインの多くは、このメッセージに自動的に反応しません。

MIDI ラーンは CC91 のメッセージを受信し、それをプラグインの「リバーブレベル」ノブなどの視覚的なパラメーターに紐付けます。これにより、エンコーダーを回すとリアルタイムで音と GUI の両方が更新されます。

#### まとめ

割り当てたノブを回すと、Artist X キーボードから CC91 (リバーブレベル) が送信されます。

MIDI ラーンがそのメッセージをプラグインまたは DAW 内の正しいコントロールに接続します。

結果：ノブを回すと聴こえるリバーブ量が増減し、プラグインの GUI ノブが連動し、表情豊かなリアルタイム制御が可能になります。

#### 注記

MIDI ラーンの実装方法は DAW によって異なります。各 DAW / バーチャルインストゥルメントのマニュアルを参照してください。MIDI ラーンの詳細は 77 ページに記載されています。

また、特に音量やリバーブなどの主要パラメーターのみを制御したい場合、MIDI ラーンのみでの使用で十分な場合があります。

ただし多くのユーザーは、リバーブレベル用の CC91 など、事前に割り当てた CC 値と MIDI ラーンを組み合わせ、より高い柔軟性を実現しています。

その理由は、CC91 のような特定の CC 値を割り当てることで、ノブなどのコントロールに一貫した識別性が与えられるためです。これはプリセットを使用するハードウェア設定や、特定の CC 割り当てを想定した DAW で特に有効です。

ただし最新のプラグインの多くは、受信した CC メッセージに自動的に反応しません。ここで MIDI ラーンが役立ちます。MIDI ラーンは任意の受信 CC メッセージを検出し、CC の標準的な用途に関わらず、目的のソフトウェアパラメーター (プラグインのリバーブノブなど) に手動で紐付けることができます。

ノブを CC91 に割り当ててから MIDI ラーンを適用することで：

- コントローラーが常に既知の固定 CC メッセージを送信するようになり
- プラグインまたは DAW がそのメッセージを解釈し、任意のパラメーターにマップできるようになります

この併用手法により、固定 CC 割り当てによる安定性と、MIDI ラーンの手動マッピングによる柔軟性の両方を最大限に活用できます。

# MIDI についての補足：ノート、プログラム、ピッチベンド

iMAP ソフトウェア内では、CC 値以外にもノート (Note)、ピッチベンド (Pitchbend)、プログラム (Program) の各メッセージをコントロールに割り当てることができます。操作手順は CC 値の再マップと同じです。

## ノート (Note)

iMAP 上でコントロールを「Note」メッセージタイプに設定すると、MIDI のノートオン/オフ (Note On/Off) が送信されるようになります。これはキーボードの鍵盤を押す、ドラムマシンのパッドを叩くのと同じ動作です。違いを明確にすると：CC 値は音量などの連続的な数値範囲を制御する用途が一般的ですが、ノートと同じようにオン/オフ制御に使うことも可能です。

ノートは特定のノートナンバー (C3、D#2 など) をトリガーして音を鳴らします。

用途例：

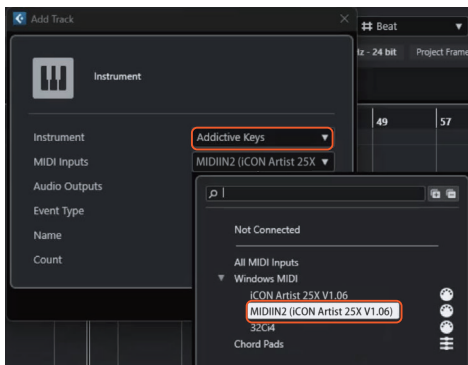
- ドラムコントローラーのパッド (キック、スネア、ハイハットのトリガーなど)
- Ableton Live や Cubase などの DAW でクリップを起動したりサンプルをトリガーしたりするボタン

## iMAP でノートメッセージを使用する例

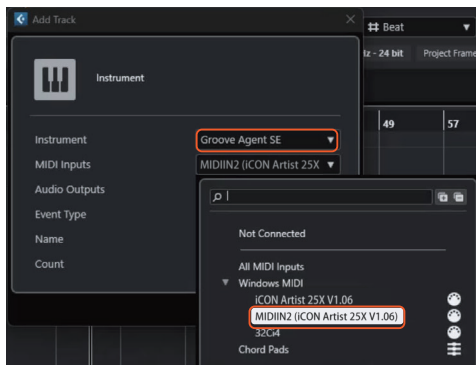
ライブでキーボード (ピアノ音源) を使って演奏するボーカリストで、曲と曲の合間にジョークを言い、オチの最後にクラッシュシンバル音を鳴らしたいとします。

DAW に通常通りピアノ音源を読み込み、1 番目の MIDI ポート：iCON Artist [Vers] X に割り当てます (DAW コントローラーである MIDI2 (iCON Artist [vers] X) ではありません)。キーボードの鍵盤部分でピアノ音を通常通りトリガーできるはずですが。同時にピッチ、モジュレーション、ペダル制御も利用可能です (サステインまたはエクスプレッションを上書き設定していない限り)。

次に、2 番目のチャンネルにドラム音源を追加し、MIDI2IN (iCON Artist [vers]X) にルーティングします。ドラム音源内でクラッシュシンバルがどのノートに割り当てられているか確認します (例：C#2)。ここでは Cubase を例に説明します。



バーチャルピアノ音源を追加する (MIDI ポート 1)。



ドラム音源を追加する (MIDI ポート 2)。

(DAW コントローラー部のボタン (本例では「STOP」ボタン) を使用してドラムサンプルをトリガーしたいため。DAW コントロールは MIDI ポート 2 で制御されます)。

iMAP 上で「User Defined」を選択します。クラッシュシンバルを MIDI マップするボタンを選んでください。演奏中はこれらのボタンを DAW コントローラーとして使用しないため、MIDI 機能をコントロールに割り当てると元の機能が上書きされることを十分に認識してください。本例では STOP ボタンを使用します。

ここで、ドラムプログラム内のクラッシュシンバルがどのノートにマップされているかを確認します。



ここで、ドラムプログラム内のクラッシュシンバルがC#2にマップされていることが確認できます。

ここからiMAPを開き、STOPボタンにクラッシュシンバルのサンプル(C#2)を割り当てます。

1. User Defined を選択
2. STOP を選択 (紫色でハイライト表示されます)
3. Message Type のドロップダウンメニューから「Note」を選択
4. チャンネルを選択 (ドラムには通常 Ch10 が使用されます)
5. 正しいノート C#(2) を選択
6. 「Save Device Settings」を選択して設定を機器に送信
7. 確認表示を待つ (「Save Device Settings OK」のポップアップが表示されます)

任意の次の手順：後で簡単に呼び出せるようファイルを保存します。

これでSTOPボタンを押すとクラッシュシンバル音がトリガーされるようになります。

もし鳴らない場合：DAWのインストゥルメントのルーティングが正しいか確認してください。

また、無料のMIDIモニターツールをダウンロードして使用することを強くおすすめします。これらのソフトは機器から送信されるMIDIメッセージを検出します。キーボードは一度に一つのソフトウェアにしか接続できないため、このツールを動作させるにはDAWとiMAPを閉じる必要がある場合があります。プログラムが起動したら、Artist XのSTOPを押して、送信した割り当てが正しいか確認します。正常に検出される場合、iMAPとArtist Xは正常に動作しており、問題はDAWの設定にある可能性が高いです(DAWのマニュアルを確認してください)。

これは、ノート値を割り当てる方法と理由の一例に過ぎません。

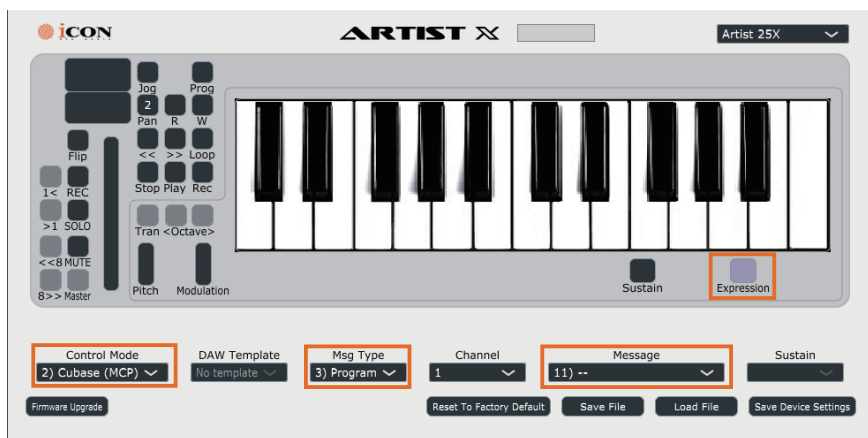
## Program (プログラム)

キーボード上のロータリーエンコーダーと併用する Program ボタンは、General MIDI 楽器やハードウェアシンセサイザー、（程度は低いものの）バーチャルインストルメントにおいて、異なる「プログラム（音色）」を切り替えるために使用できます（物理キーボードの「Program」セクションについては 13 ページおよび 56 ページを参照）。

iMAP 上では、特定のプログラム音色を物理ボタンまたはコントロールに割り当てることができます。例えばユーザーが、エクスプレッションペダルのコントロールを再マップし、ペダルで特定の音色／シンセパッチを切り替えたい場合があります。

これを実現するには、iMAP 上で Expression ボタンを選択して再割り当てを行い、「Msg Type」ドロップダウンメニューから「Program」を選択、「Message」メニューで音色／パッチに対応する番号（0～127）を選択します。

この操作は選択中の DAW モードで実行可能であり、User Defined モードを選択する必要はありません。



General MIDI 対応のハードウェアシンセサイザーを使用する場合、本例ではペダルがピッコロのサンプルをトリガーします（General MIDI 音色 0～127 については次のページを参照）。注：再マップ時に直前のプログラム状態は記憶されないため、音色の切り替え（トグル動作）はできません。

## Pitch Bend (ピッチベンド)

ペダルまたはモジュレーションホイールにピッチベンド機能を割り当てたい場合があります。これを行うには、対象のコントロールエレメントを選択し、Message Type ドロップダウンメニューから「Pitch Bend」を選択して「Save Device Settings」をクリックします。もともとピッチホイールでピッチベンドが利用可能なため、この機能の有用性は限定的な場合があります。

# General MIDI 音色

Artist X は本体自身では音を生成しません。本製品は、Cubase や Pro Tools などのソフトウェアで使用するための MIDI キーボードおよび DAW コントローラーとして設計されています。ただし、ハードウェアシンセサイザー、バーチャルインストルメント、General MIDI 対応ハードウェアシンセの制御に使用することもできます。仮想楽器では Program ボタンによるリアルタイムでの音色切り替え機能に制限がありますが、GM シンセサイザーでは非常に効果的に動作します（ハードウェアの接続環境と互換性に依存します）。以下は、すべての GM 互換楽器 / モジュールに搭載されている標準 General MIDI (GM) 音色セット（プログラム番号 0 ~ 127）です。

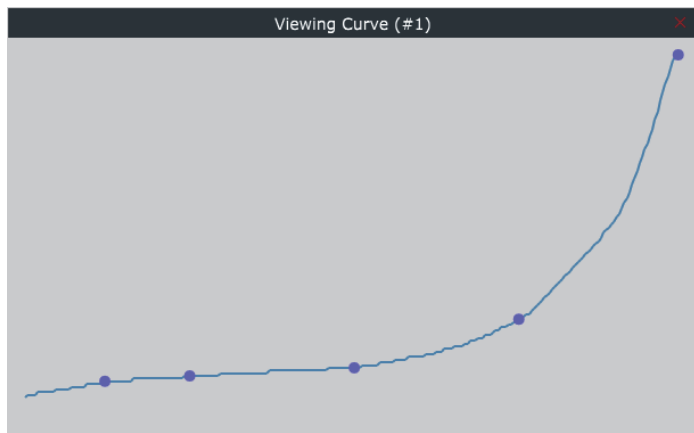
0 Acoustic Grand Piano	43 Contrabass	86 Lead 7 (fifths)
1 Bright Acoustic Piano	44 Tremolo Strings	87 Lead 8 (bass + lead)
2 Electric Grand Piano	45 Pizzicato Strings	88 Pad 1 (new age)
3 Honky-Tonk Piano	46 Orchestral Harp	89 Pad 2 (warm)
4 Electric Piano 1	47 Timpani	90 Pad 3 (polysynth)
5 Electric Piano 2	48 String Ensemble 1	91 Pad 4 (choir)
6 Harpsichord	49 String Ensemble 2	92 Pad 5 (bowed)
7 Clavinet	50 Synth Strings 1	93 Pad 6 (metallic)
8 Celesta	51 Synth Strings 2	94 Pad 7 (halo)
9 Glockenspiel	52 Choir Aahs	95 Pad 8 (sweep)
10 Music Box	53 Voice Oohs	96 FX 1 (rain)
11 Vibraphone	54 Synth Choir	97 FX 2 (soundtrack)
12 Marimba	55 Orchestral Hit	98 FX 3 (crystal)
13 Xylophone	56 Trumpet	99 FX 4 (atmosphere)
14 Tubular Bells	57 Trombone	100 FX 5 (brightness)
15 Dulcimer	58 Tuba	101 FX 6 (goblins)
16 Drawbar Organ	59 Muted Trumpet	102 FX 7 (echoes)
17 Percussive Organ	60 French Horn	103 FX 8 (sci-fi)
18 Rock Organ	61 Brass Section	104 Sitar
19 Church Organ	62 Synth Brass 1	105 Banjo
20 Reed Organ	63 Synth Brass 2	106 Shamisen
21 Accordion	64 Soprano Sax	107 Koto
22 Harmonica	65 Alto Sax	108 Kalimba
23 Tango Accordion	66 Tenor Sax	109 Bagpipe
24 Acoustic Guitar (nylon)	67 Baritone Sax	110 Fiddle
25 Acoustic Guitar (steel)	68 Oboe	111 Shanai
26 Electric Guitar (jazz)	69 English Horn	112 Tinkle Bell
27 Electric Guitar (clean)	70 Bassoon	113 Agogo
28 Electric Guitar (muted)	71 Clarinet	114 Steel Drums
29 Overdriven Guitar	72 Piccolo	115 Woodblock
30 Distortion Guitar	73 Flute	116 Taiko Drum
31 Guitar Harmonics	74 Recorder	117 Melodic Tom
32 Acoustic Bass	75 Pan Flute	118 Synth Drum
33 Electric Bass (finger)	76 Blown Bottle	119 Reverse Cymbal
34 Electric Bass (pick)	77 Shakuhachi	120 Guitar Fret Noise
35 Fretless Bass	78 Whistle	121 Breath Noise
36 Slap Bass 1	79 Ocarina	122 Seashore
37 Slap Bass 2	80 Lead 1 (square)	123 Bird Tweet
38 Synth Bass 1	81 Lead 2 (sawtooth)	124 Telephone Ring
39 Synth Bass 2	82 Lead 3 (calliope)	125 Helicopter
40 Violin	83 Lead 4 (chiffer)	126 Applause
41 Viola	84 Lead 5 (charang)	127 Gunshot
42 Cello	85 Lead 6 (voice)	

## ベロシティカーブ表示

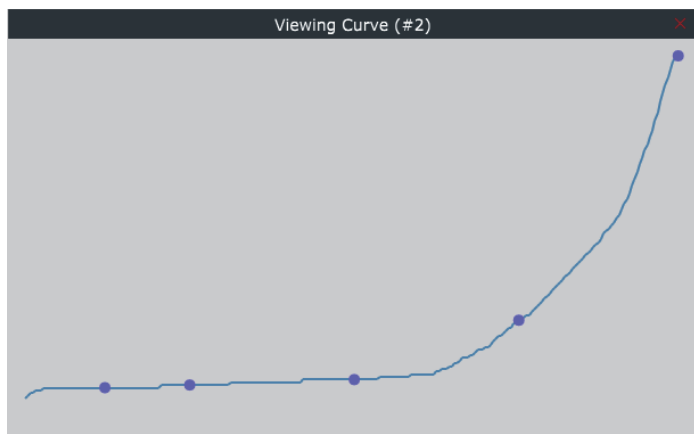
ベロシティカーブは、鍵盤を押す強さや速さが MIDI ベロシティに変換される方式を制御します。これは通常、ノートの音量や音の強弱に影響します。異なるベロシティカーブを割り当てることで、キーボードの反応を自身の演奏スタイルや音楽的な状況に合わせて調整できます。例えば、緩やかなカーブは繊細なニュアンスでデリケートなフレーズを弾きやすくし、急勾配のカーブは少ない力でパンチのあるサウンドを出せるようになります。ピアノやストリングスのような表情豊かな楽器の演奏、アグレッシブなシンセやドラムのトリガー、指の力や技術に合わせて鍵盤の感触を調整する際に特に役立ちます。カスタムカーブにより、最大限のコントロールと快適さのためキーボードの反応を微調整できます。デフォルト状態はカーブ 1 に近く、必要に応じて調整可能です。

カーブ表示 (Curve View) では全 8 種類のカーブを確認できます。

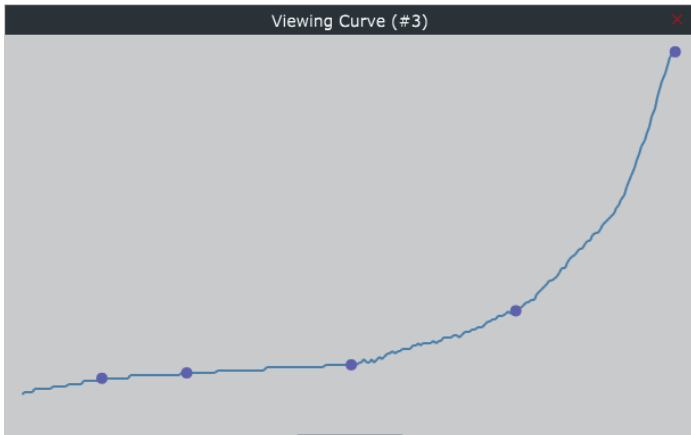
1. iMAP 上の楽器鍵盤部分をクリックし、紫色でハイライト表示させます。
2. ベロシティカーブのドロップダウンメニューから任意のカーブを選択します。
3. 「Curve View」をクリックします。



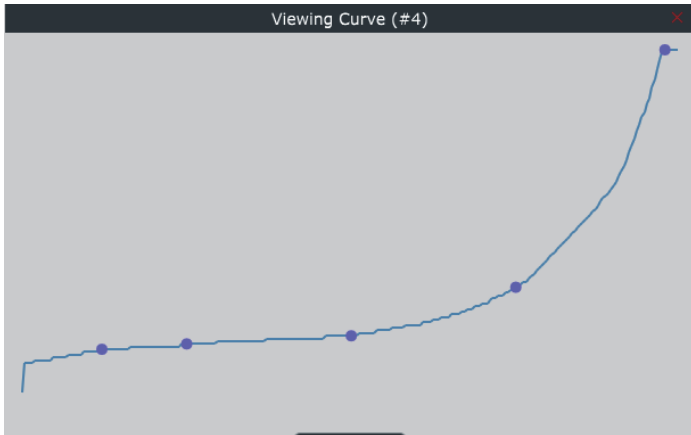
Curve 1



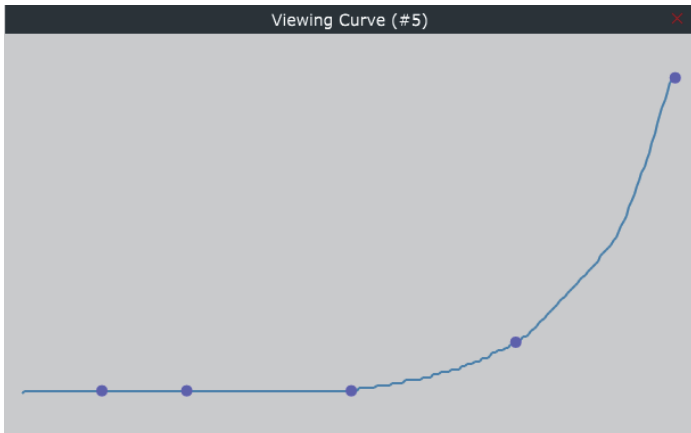
Curve 2



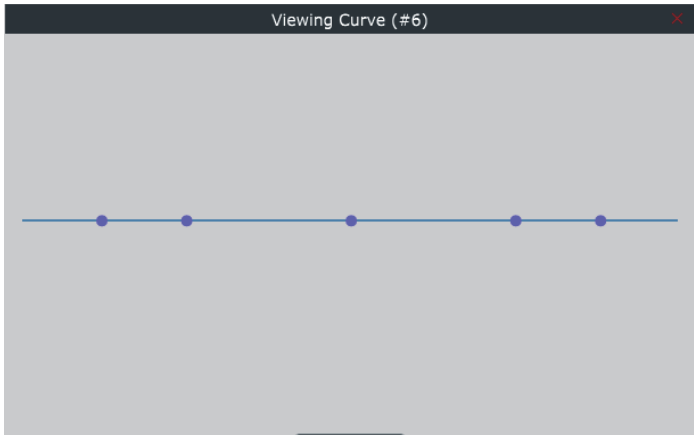
Curve 3



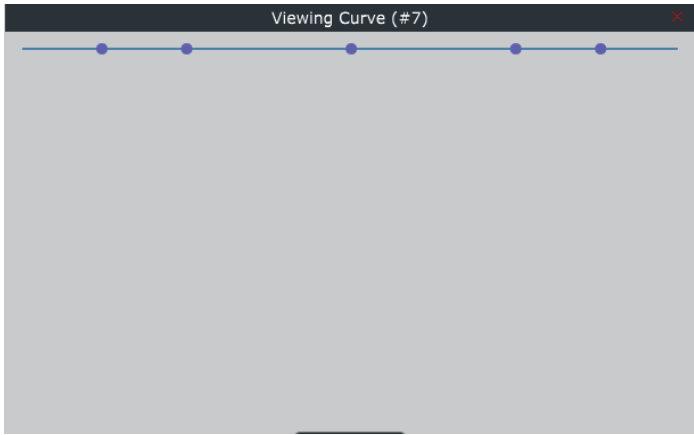
Curve 4



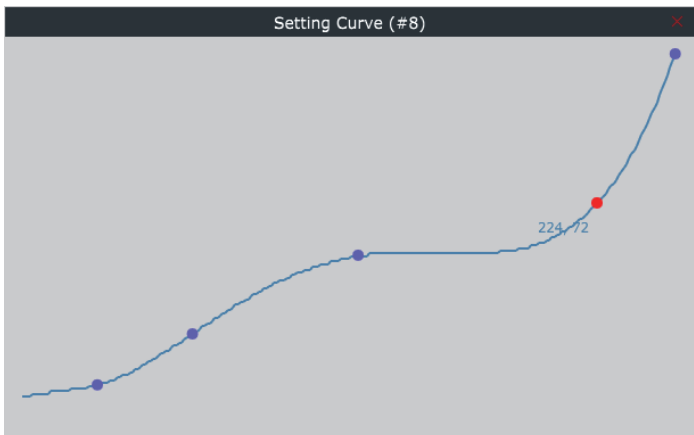
Curve 5



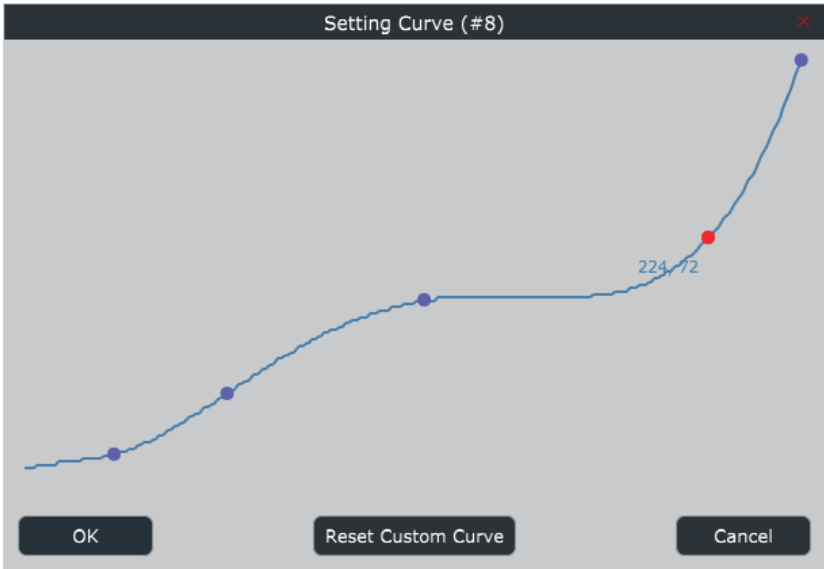
Curve 6



Curve 7



Custom Curve (default state)



すべてのカーブ表示ウィンドウには「OK」ボタンがあります。これを押してカーブ表示を終了してください。

カスタムカーブには2つ目のボタン「カスタムカーブをリセット」があります。これを押すと、カスタムカーブがデフォルト状態にリセットされます。

# ベロシティカーブの説明

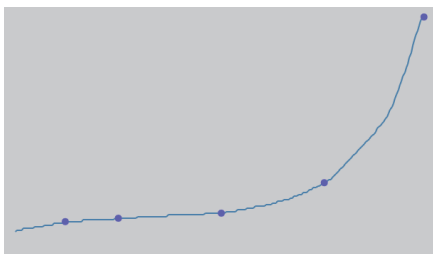
## カーブ1

タイプ：ソフト／表情豊か

説明：軽い鍵盤押しでは非常に低いベロシティ出力となり、強い押圧を加えたときにのみ高いベロシティに到達します。

効果：繊細な音量ニュアンスを細かくコントロールしたい表情豊かな演奏（デリケートなピアノフレーズ、アンビエントサウンドなど）に最適です。

欠点：タッチの軽いプレイヤーには反応が鈍い、または「音が小さすぎる」と感じられる場合があります（意図的に選択した場合を除く）。



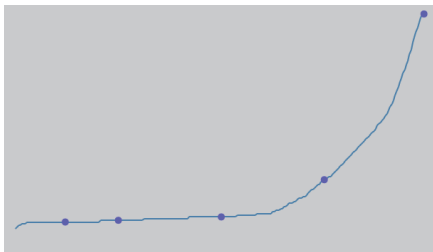
## カーブ2

タイプ：ややソフト

説明：カーブ2は緩やかに始まり、弱い押鍵に対して繊細に反応しますが、カーブ1より少し早い段階からよりスムーズに上昇します。最大ベロシティに到達するには依然としてある程度の力が必要ですが、カーブ1ほど極端ではありません。

効果：弱い演奏で大きな音が出るのを抑えつつ、適度な力でフルダイナミックレンジを使いたいプレイヤーに理想的です。

欠点：リニアな特性やピアノに近い感触に慣れたプレイヤーには、やや抑えられすぎて感じる場合があります。



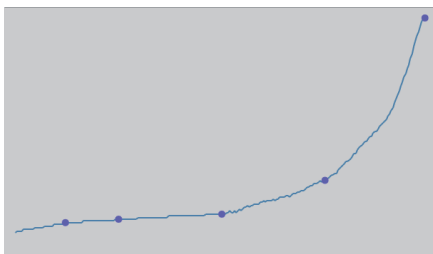
## カーブ3

タイプ：ややソフト／表情豊か

説明：カーブ3は緩やかに上昇し、低域ではややフラットな傾斜を持ち、その後スムーズに最大ベロシティまで上がります。繊細なダイナミクスと弾きやすさのバランスに優れています。

効果：弱～中程度の押圧で演奏し、最大ベロシティに達するまでの余裕を持ちたいプレイヤーに適しています。表情豊かなストリングスライブラリやニュアンスのあるシンセパッチに適しています。

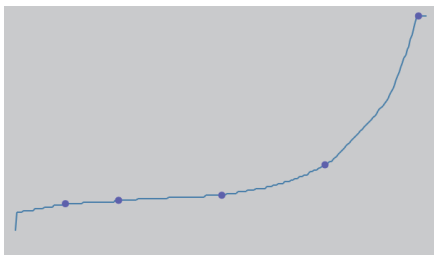
欠点：ドラムやパーカッシブなシンセなど、即座に高いベロシティが必要な用途にはパンチが不足する場合があります、最大強度に達するにはより強い押圧が必要です。



## カーブ 4

タイプ：ソフト～モデレート

説明：カーブ 4 はカーブ 1～3 よりも開始位置がやや高く、低ベロシティ域は抑えられています。曲線は安定して上昇し、高域付近で急激に立ち上がります。



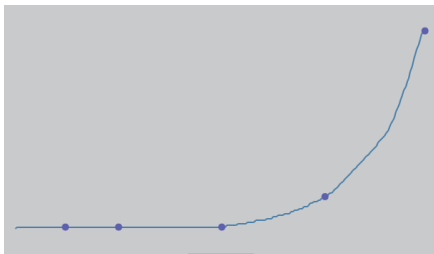
効果：超ソフトカーブよりも少しだけ初期のパンチが欲しい、ダイナミックな弱音表現に適しています。表情豊かなキーボード演奏、パッド、大音量も必要な映画音楽制作などに向いています。

欠点：最高ベロシティ域に到達するにはやや力が必要で、速いフレーズでは意識的に強く押さないと反応が物足りなく感じる場合があります。

## カーブ 5

タイプ：極めてソフト

説明：カーブ 5 は開始部分がほぼフラットで、軽い押鍵ではベロシティがほとんど出力されず、曲線の終盤で急激に上昇します。



効果：低音量を精密にコントロールし、レイヤーサウンドやアンビエント制作での誤った大音を防ぐのに最適です。極小音と大音のコントラストを作る用途にも使えます。

欠点：通常の演奏では反応が鈍く感じられることがあります。即座な出力を期待するユーザーにはストレスになる場合があり、ソフトな表情やミニマルな用途以外には不向きです。

## カーブ 6

タイプ：固定／フラット

説明：鍵盤の強弱に関わらず、単一の固定ベロシティ値を出力します。水平なラインはすべてのノートが同じ強さ（多くは中間値、例：ベロシティ 64）で鳴ることを示します。



効果：強度の均一なドラムサンプルのトリガーや、後で編集するためベロシティ変動をなくした録音など、一定の出力が欲しい場面に最適です。

欠点：ダイナミックな表情が完全に失われます。ピアノ、オーケストラ楽器、ニュアンスや強弱コントロールが必要なパートには不向きです。

## カーブ7

タイプ：固定・高出力

説明：カーブ6と同じくベロシティ固定ですが、水平ラインがスケールの最上部に位置し、すべての押鍵で最大MIDIベロシティ（127）を出力します。



効果：大音量のドラムヒット、スタブ、最大ベロシティで音色が決まるアグレッシブなシンセなど、常に最大強度での演奏に最適です。ダイナミクスが不要なライブでも役立ちます。

欠点：ダイナミック制御が完全になくなり、すべての音が最大音量になります。ピアノ的な演奏やニュアンスのある演奏には不向きです。

## カーブ8

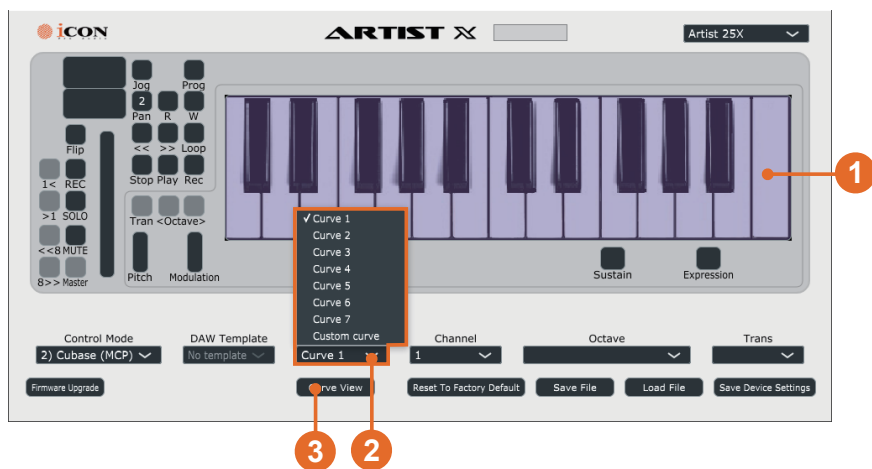
カーブ1とほぼ同一ですが、こちらはカスタマイズ可能です。次のページを参照してください。



## ベロシティカーブ クイックリファレンスチャート

Curve	タイプ／感触	最適な用途	欠点
1	極めてソフト、表情豊か	アンビエント、デリケートなフレーズ	音が小さすぎる／反応が鈍いと感じる場合がある
2	ソフト／モデレート	余裕のあるスムーズなダイナミクス	やや抑えられた印象
3	バランスの良いソフト	繊細なシンセ／ストリングスコントロール	ドラムにはパンチが不足
4	マイルドカーブ	汎用的な演奏	最大出力がやや抑えられる
5	極めてソフト、後半上昇	静かな質感、アンビエントレイヤー	反応が鈍いと感じる場合がある
6	フラット（固定値）	一定の MIDI トリガー（例：ドラムサンプル）	ダイナミクスが一切ない
7	最大出力（常に 127）	全力のシンセスタブまたはライブ演奏	表情付けが一切できない
8	カスタム	あらゆる用途 - ユーザー定義	ユーザーが手動で設定する必要がある

# カスタムベロシティカーブの作成方法

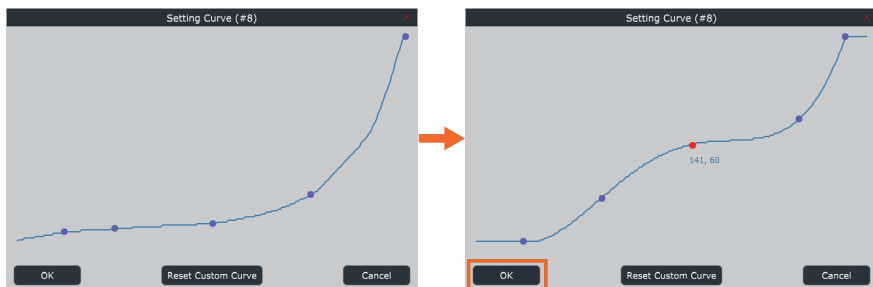


1. iMAPのキーボード部分をクリックし、紫色でハイライト表示させます。

2. プリセットカーブとしてカーブ1～7を選択します(カーブ1がデフォルトです)。選択したカーブは即座にキーボードに適用されます。各カーブのグラフは「Curve View」(3)をクリックすると表示できます。

**または**

「Custom Curve」(カーブ8)を選択して、独自のベロシティカーブを作成します。「Curve View」(3)をクリックしてカーブを表示します。ノード(操作中に赤色に変わる紫色の丸)をドラッグ&ドロップして、オリジナルのカスタムカーブを作成します。必要に応じて設定を保存してください。



## その他の用途 – シンセサイザー制御・MIDI ラーン

Artist シリーズのキーボードは、コンピューターおよび デジタルオーディオワークステーション (DAW) (Cubase、Logic Pro、Pro Tools など) との併用を主な目的として設計されています。USB 接続すると、キーボードは MIDI データを DAW に送信し、仮想楽器やプラグインを使用した演奏・録音が可能になります。

### スタンドアロン楽器

DAW への完全な統合に加え、Artist シリーズは DAW に依存せず動作するスタンドアロン型仮想楽器とも併用できます。多くのオーケストラライブラリ、ピアノエミュレーター、シンセサイザーは、DAW 内で使用するプラグイン版と、デスクトップから直接起動できるスタンドアロン版の両方を提供しています。これにより、DAW セッション全体を読み込まなくても Artist X キーボードで手軽に演奏や練習ができます。コンピューター上のスタンドアロン楽器に接続するには、通常、設定画面 (歯車アイコンで表示されることが多い) で、アクティブな MIDI 入力に Artist X キーボードになっていることを確認してください。

### General MIDI モジュール

Artist X を General MIDI (GM) サウンドモジュールと接続して使用することもできます。GM 規格に準拠したソフトウェアまたはハードウェアシンセで、0 ~ 127 の計 128 種類のプリセット楽音 (ピアノ、ドラム、オーケストラ系音色など) を搭載しています。GM シンセの音質は製品によって大きく異なりますが、アイデアのスケッチ作成や、外部ライブラリを使わずに基本的な楽音を鳴らす用途に便利です。ハードウェアモジュールの場合は、メーカーの取扱説明書を参照し、MIDI 接続による Artist キーボードの接続方法を確認してください。なお、このようなハードウェアモジュールには内蔵スピーカーがほとんど搭載されていないため、PC への接続が必要になる場合があります (機器の仕様上必須となるケースもあります)。または、モジュールに外部スピーカーを接続することも可能です。

### ハードウェアシンセサイザー

ハードウェアによる音生成を希望する場合は、Artist X キーボードを専用の MIDI ハードウェアシンセサイザーに接続できます。これには物理的な MIDI 接続が必要です。接続後、Artist X は MIDI ノートと制御データを直接シンセに送信し、シンセ本体が音声を生成します。詳細はお使いのシンセメーカーのマニュアルを参照してください。

## MIDI ラーン (MIDI Learn)

Artist X の物理コントロール (ロータリーノブ、ボタン、ペダル (別売)、ホイールなど) を、仮想楽器やプラグインのパラメーター (例: フィルターカットオフ、音量、リバーブ量など) にアサインしたい場合、多くのプラグインが MIDI ラーン 機能に対応しています。一部の DAW では、プラグインのグラフィカルインターフェース (GUI) 上のコントロールを右クリックし、「Learn MIDI CC」 (MIDI CC を学習) のようなオプションを選択するのが一般的です。

その後、Artist X 上の任意のコントロールを操作すると、プラグインがそのハードウェアコントロールを選択したパラメーターに自動的にマッピングします。他の DAW では、プラグインや仮想楽器に対して別の方法で MIDI マッピングを行います。詳細はお使いの DAW のマニュアルを参照してください。

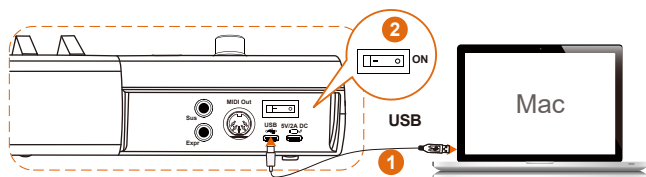
プラグインや仮想楽器をコントロールすることで、ライブ演奏でもスタジオセッションでもリアルタイムで表情豊かな制御とカスタマイズが可能になります。ワークフローの向上につながると感じる場合は、ぜひ活用を検討してください。

ただし、いくつかの制限が生じる場合があります。一部のプラグインは非対応です。一部のプラグインで GUI 上のコントロールが機能しない場合があります。コントロールの動作特性 (操作のなめらかさや直感的さ) が期待に沿わない場合があります。

一方、LA2A や 1176 系のコンプレッサープラグインのようにコントロール数が少ないプラグインを繰り返し使う場合、GUI がシンプルなため物理コントローラーとの相性が非常に良い傾向があります。

# ファームウェアアップグレード

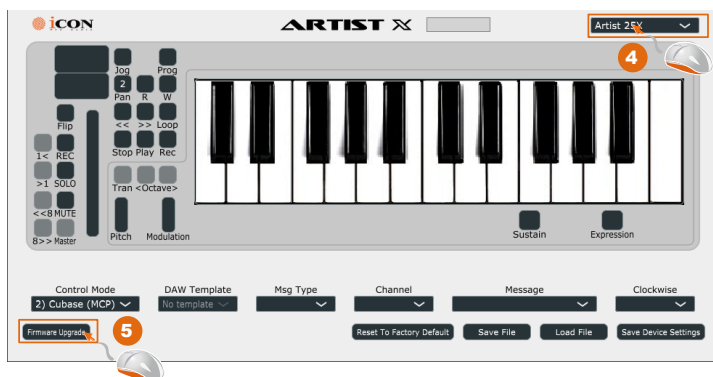
Artist X ファームウェア書き込み手順



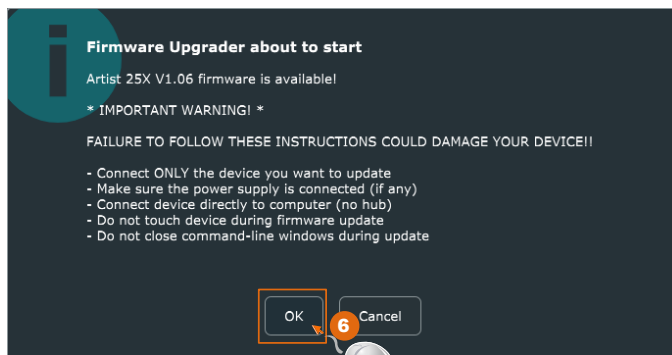
1. 機器をコンピューターに接続します。
2. Artist X の電源を入れます。



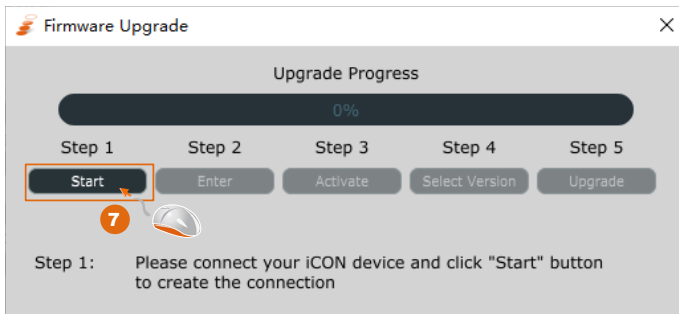
3. Artist X 用 iMAP がダウンロード・インストールされていることを確認します。



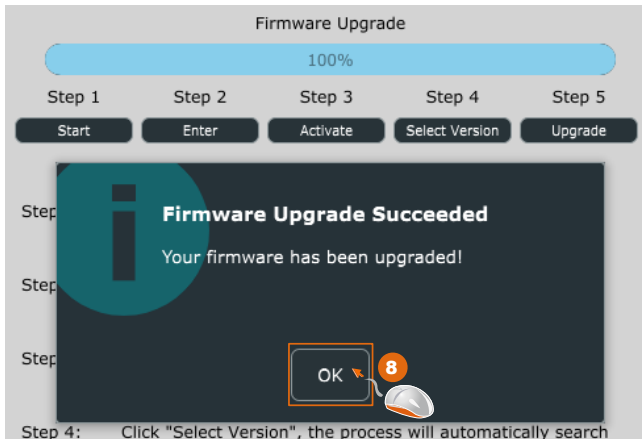
4. ドロップダウンメニューから正しい機器が選択されていることを確認します。
5. 「Firmware Upgrade」（ファームウェアアップグレード）をクリックします。



6. 進める前にすべての注意事項を読み、内容を理解してください。「OK」をクリックします。



7. 「Start」（開始）を押します。

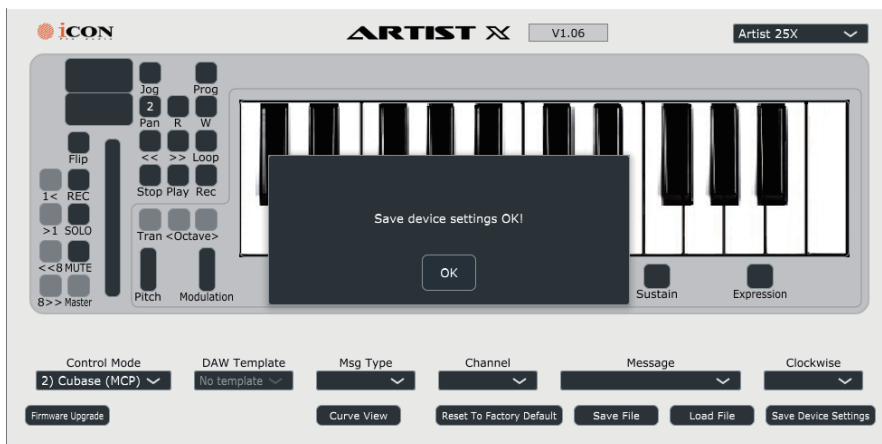


8. そのまま処理が完了するまでお待ちください。「OK」をクリックして終了します。

# 工場出荷時設定にリセット

iMAP : Artist X の iMAP 設定を工場出荷時の状態に戻すには、「Reset to Factory Default」をクリックしてください。処理が正常に完了したことを示すポップアップメッセージは表示されませんが、キーボードが工場設定にリセットされたことが確認できます。

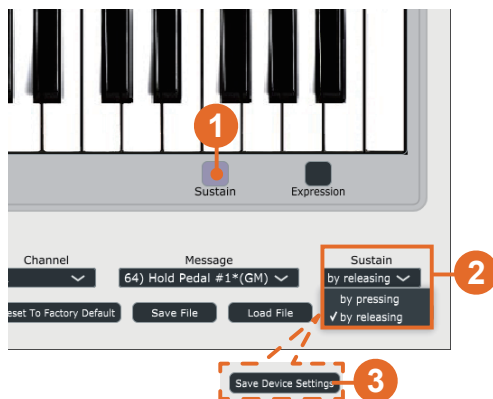
Artist X : Artist X キーボードの設定を工場出荷時に戻すには、キーボードが接続されていることを確認し、「Reset to Factory Default」をクリックした後、「Save Device Settings」をクリックしてください。処理が完了すると、以下のメッセージが表示されます：



## 概要 – サステインペダル接続極性の反転

サステインペダルの極性を反転させると、ペダルを踏むのではなく離れたときにサステイン（音の持続）がかかります。

一部のサステインペダルは、本体下部のスイッチなどでハードウェア側で極性を反転できます。そのようなスイッチがなく、同様の動作が必要な場合は、サステインペダルをキーボードに接続し iMAP を開いた状態にしてください。その後、「Sustain」を選択し、iMAP のドロップダウンメニューから「By Releasing（離れたとき）」を選択し、「Save Device Settings」をクリックしてキーボードに設定を送信してください。これで接続の極性が反転します。



### 概要：








1. 「Sustain」を選択
2. 「By releasing」を選択
3. 設定を保存

## トラブルシューティング








不具合	考えられる原因	解決方法
コンピューターが Artist X を認識しない	USB 接続の緩み、または給電不足	USB ケーブルが両端でしっかり接続されていることを確認してください。別の USB ポートまたはケーブルをお試しください。または、オプションの電源アダプターを接続してください。
鍵盤やコントロールから MIDI データが送信されない	DAW またはソフトウェアが MIDI 入力を受信していない	ソフトウェア内で Artist X が MIDI 入力デバイスとして選択されていることを確認してください。MIDI チャンネル設定とルーティングを確認・変更してください。
iMAP が Artist X を認識しない	iMAP 起動後に機器の電源を入れた	iMAP を閉じ、Artist X が接続されていることを確認した上で、ソフトウェアを再度開いてください。
MIDI アサインが期待通りに動作しない	iMAP で CC 番号または MIDI チャンネルを誤って選択している	iMAP を開き、正しいコントロールアサインを確認してください。目的の MIDI メッセージとチャンネルが対象ソフトウェアと一致しているか確認してください。変更内容をキーボードに書き込んでください。
ファームウェアアップデートに失敗する、または機器が操作不能になる	アップデートが中断された、またはファームウェアモードへの移行が不正	USB ケーブルを再接続し、iMAP を再起動してください。ファームウェアアップグレードモードに再度入り、処理を再実行してください。
鍵盤を弾いても音が出ない	楽器がロードされていない、または出力ルーティングが設定されていない	Artist シリーズは直接音を出しません。仮想楽器がロードされ、Artist X からの MIDI を受信するよう設定されていることを確認してください。
サステインペダルまたはエクスプレッションペダルが反応しない	ペダルが完全に差し込まれていない、極性が間違っている、または電源投入後に接続した	機器の電源を入れる前にペダルを接続してください。DAW または iMAP 内でペダル機能が正しくマッピングされているか確認してください。

問題が解決しない場合？テクニカルサポートチームにチケットを送信してください。スタッフは喜んでサポートいたします。それが生きがいです。「Services」ページをご覧ください。

## 付録 A : HUI モード 機能一覧表

Controller	Function
Encoder	Adjust channel Pan parameter
Encoder with "Jog" button activated	Rotate: Scrolling the play-line forward & backward Enter: Add marker
TouchPad Fader	Adjust channel/Master volume
Button "Master"	Activate to use the touchpad fader as Master fader
Button "M"	Mute track
Button "S"	Solo track
Button "  " 1-8	Record track
Button "Channel <"	Shift one channel up
Button "Channel >"	Shift one channel down
Button "8 <<"	Shift eight channel up
Button "8 >>"	Shift eight channel down
Button "  "	Activate the stop function
Button "  "	Activate the play function
Button "  "	Activate the record function
Button "<<"	Activate the rewind function
Button ">>"	Activate the fast forward function
Button "  "	Activate the loop function
Button "Flip"	Swap the parameter settings of the faders and the rotary encoder knobs
Button "  "	Activate the read function of the DAW
Button "  "	Activate the write function of the DAW
Button "Program"	Activate to select different sound patches on your DAW

## 付録 B : Mackie Control モード 機能一覧表

Controller	Function
Encoder	Adjust channel Pan parameter
Encoder with "Jog" button activated	Rotate: Scrolling the play-line forward & backward
TouchPad Fader	Adjust channel/Master volume
Button "Master"	Activate to use the touchpad fader as Master fader
Button "M"	Mute track
Button "S"	Solo track
Button "  " 1-8	Record track
Button "Channel <"	Shift one channel up
Button "Channel >"	Shift one channel down
Button "8 <<"	Shift eight channel up
Button "8 >>"	Shift eight channel down
Button "  "	Activate the stop function
Button "  "	Activate the play function
Button "  "	Activate the record function
Button "<<"	Activate the rewind function
Button ">>"	Activate the fast forward function
Button "  "	Activate the loop function
Button "Flip"	Swap the parameter settings of the faders and the rotary encoder knobs
Button "  "	Activate the read function of the DAW
Button "  "	Activate the write function of the DAW
Button "Program"	Activate to select different sound patches on your DAW

# 仕様

## 接続端子：

USB	USB 端子 (標準タイプ)
サスティン&エクスプレッション	6.35mm (1/4 インチ) TS 端子 × 2
MIDI 入出力	5 ピン DIN 端子

電源供給	5V/2A DC
消費電流	100mA or less

## 重量：

Artist 25X	1.72kg	3.78(lb)
Artist 37X	2.25kg	4.97(lb)
Artist 48X	2.8kg	6.17(lb)
Artist 61X	3.37kg	7.43(lb)
Artist 88X	4.61kg	10.17(lb)

## 外形寸法：

Artist 25X	521(L)*189(W)*72(H)mm
	20.51 (L)×7.44 (W)×2.83 (H) "
Artist 37X	682(L)*189(W)*72(H)mm
	26.85 (L)×7.44 (W)×2.83 (H) "
Artist 48X	843(L)*189(W)*72(H)mm
	33.2 (L)×7.44 (W)×2.83 (H) "
Artist 61X	1004(L)*189(W)*72(H)mm
	39.53 (L)×7.44 (W)×2.83 (H) "
Artist 88X	1372(L)*189(W)*72(H)mm
	54.02 (L)×7.44 (W)×2.83 (H) "

# サービス

Artist X キーボードの修理・メンテナンスが必要な場合は、以下の手順に従ってください。

<http://support.iconproaudio.com> のオンラインヘルプセンターにアクセスし、以下の情報・リソース・ダウンロードファイルをご確認ください。

1. FAQ (よくある質問)
2. ダウンロード
3. 製品登録
4. ビデオチュートリアル

これらのページで多くの問題の解決策が見つかります。解決策が見つからない場合は、以下のリンクからオンラインヘルプセンターでサポートチケットを作成してください。テクニカルサポートチームが速やかに対応いたします。

<https://support.iconproaudio.com> にアクセスし、ログイン後にチケットを送信してください。

問い合わせチケットを送信後、サポートチームが ICON Pro Audio 機器の問題を速やかに解決するための対応を行います。

不良品を修理に送付する場合の手順：

1. 問題が操作ミスまたは外部システム機器に起因するものではないことを確認してください。
2. 製品を、エンドカードや外箱を含むオリジナルパッケージに梱包してください。これは非常に重要な点です。梱包材を紛失した場合は、製品を適切に梱包するようにしてください。ファクトリー仕様以外の梱包によって発生した損傷について、ICON は一切責任を負いません。
3. 製品を ICON テクニカルサポートセンターまたは地域の返品認定窓口に発送してください。以下のリンクから当社のサービスセンターおよびディストリビューターのサービス拠点をご確認ください。

アメリカ合衆国在住の場合：

<https://support.iconproaudio.com> のヘルプセンターにアクセスし、テクニカルサポートチームにチケットを送信してください。

ヨーロッパ在住の場合：

サポートチームにメールで問い合わせ、返信を待った上で製品を以下の住所に発送してください。

**Sound Service GmbH**  
**European Headquarters**  
**Moriz-Seeler-Straße 3 D-12489 Berlin**  
**Telephone: +49 (0)30 707 130-0**  
**Fax: +49 (0)30 707 130-189**  
**E-Mail: [service@sound-service.eu](mailto:service@sound-service.eu)**

香港在住の場合：

サポートチームにメールで問い合わせ、返信を待った上で製品を以下の住所に発送してください。

アジア拠点：

**ASIA OFFICE:**  
**Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,**  
**No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,**  
**Sha Tin, N.T., Hong Kong.**  
**Tel: (852) 2398 2286**  
**Fax: (852) 2789 3947**  
**Email: [info.asia@icon-global.com](mailto:info.asia@icon-global.com)**



天猫官方旗舰店



天猫店iconproaudio旗舰店

抖音号



抖音iCON艾肯

哔哩哔哩



B站iCONProAudio

微信公众号



微信号iCON-PRO

官方售后00



4006311312.114.qq.com

中国地区用户

Twitter



[www.twitter.com/iconproaudio](http://www.twitter.com/iconproaudio)

Instagram



[www.instagram.com/iconproaudio](http://www.instagram.com/iconproaudio)

Facebook



[www.facebook.com/iconproaudio](http://www.facebook.com/iconproaudio)

Youtube



[www.youtube.com/iconproaudio](http://www.youtube.com/iconproaudio)

Website



[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

Support



[support.iconproaudio.com](http://support.iconproaudio.com)

Dashboard



[iconproaudio.com/dashboard/](http://iconproaudio.com/dashboard/)

[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)